

狛江市スポーツ推進計画



令和3(2021)年3月

狛江市教育委員会

狛江市スポーツ推進計画 目次

第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって	1
1.1 計画の基本方針.....	1
(1) 計画策定の趣旨及び位置付け.....	1
(2) 本計画における『スポーツ』.....	1
(3) 計画の期間.....	2
(4) 計画終了年度における目標.....	3
1.2 スポーツ推進の意義.....	4
1.3 狛江市のスポーツの現状と課題.....	5
(1) 市のこれまでの取組.....	5
(2) 市民のスポーツの現状.....	6
(3) 今後の課題.....	8
第2章 基本理念及び基本目標	9
2.1 基本理念.....	9
2.2 基本目標.....	9
第3章 基本目標を達成するための具体的な施策	11
第4章 計画の推進	14

資料編	16
1 狛江市スポーツ推進審議会条例.....	17
2 検討経緯.....	18
3 狛江市の体育施設.....	20
4 特定非営利活動法人狛江市体育協会加盟団体.....	23
5 狛江市のスポーツに関するアンケート調査結果.....	24

第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって

1.1 計画の基本方針

(1) 計画策定の趣旨及び位置付け

スポーツ推進計画は、スポーツ基本法第10条第1項に基づく「その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」であり、市では平成28(2016)年3月に策定しています。この度、令和2(2020)年度に現行計画の計画期間が満了することから、国の「スポーツ基本計画(平成29年3月24日)」を参酌し、併せて、東京都スポーツ推進総合計画(平成30年3月)を参考とし、狛江市前期基本計画(令和2年3月)、第3期狛江市教育振興基本計画(令和2年3月)など市の計画の内容を踏まえて、新たな狛江市スポーツ推進計画を策定します。

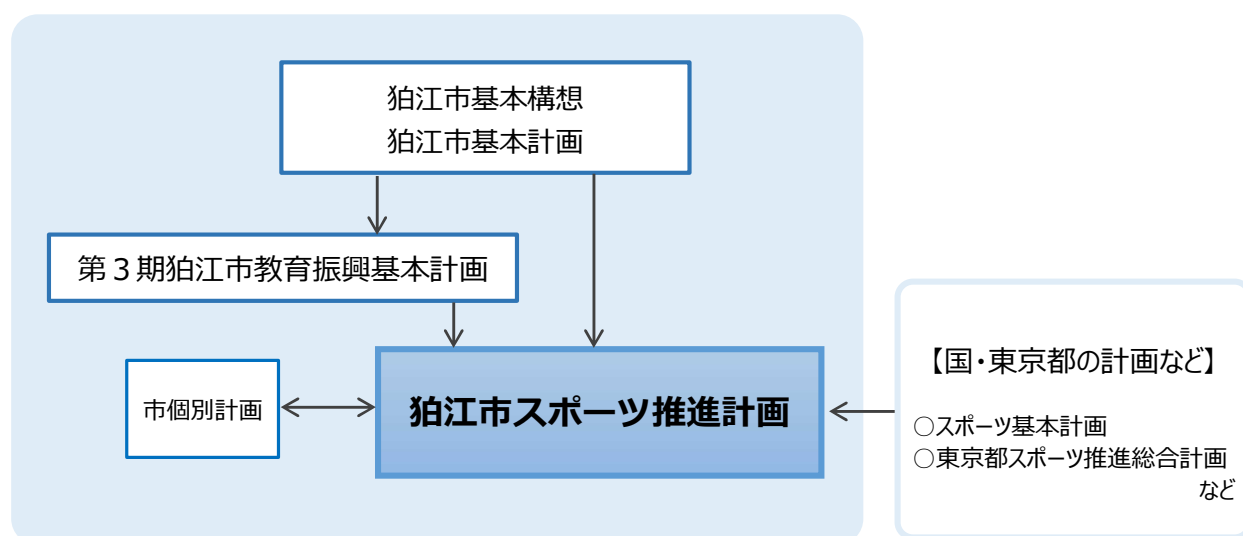


図 計画の位置付け

(2) 本計画における『スポーツ』

本計画においてスポーツとは、余暇等を利用して意識的に身体を動かすことであり、そこに「競う」という要素が加わるものもあります。身体を動かし、楽しむことを原点として、ルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の高いものから、日常の中の散歩・サイクリング・徒歩での買い物まで幅広いものとして捉えます。

スポーツとは・・・

競技性の高いものから、日常の中の散歩・サイクリングまで幅広く

(3) 計画の期間

本計画は、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間の計画期間とします。
ただし、計画期間中に社会情勢の大きな変化などが起きた場合には、必要な調整を図ります。

計画期間

令和3(2021)年度～令和7(2025)年度



リオデジャネイロオリンピック金メダリスト金藤理絵さんを講師として招いてのスキルアップ水泳教室



ロンドンオリンピック銀メダリスト平野早矢香さんを講師として招いてのスキルアップ卓球教室



オリンピックの陣内貴美子さんを講師として招いてのスキルアップバドミントン教室

(4) 計画終了年度における目標

①現状値

第4次基本構想前期基本計画の指標の現状値を把握するための市民アンケート調査(令和2(2020)年1月)では、狛江市の現状のスポーツ実施率(週1回以上、何らかの運動やスポーツをしている市民の割合)は60.1%でしたが、本計画策定のための基礎資料とするために実施した狛江市のスポーツに関するアンケート調査(令和2(2020)年5月)では、狛江市の現状のスポーツ実施率は69.6%であり、短期間に実施した調査において、スポーツ実施率の乖離が10%近くありました。

②現状値の分析

狛江市のスポーツに関するアンケート調査は、コロナ禍において実施しており、在宅勤務や休校等により外出機会が減ったため、自宅や自宅周辺で身体を動かす人が増えたことから、短期間に10%程度の上昇があったと推察できます。今後新型コロナウイルスの終息により、社会活動が回復することにより、外出機会が増え、自宅や自宅周辺で身体を動かしていた方の運動機会が減り、短期間のスポーツ実施率の上昇が減っていく可能性が考えられます。

③目標値

本計画終了年度における目標値については、現状値の分析を踏まえて、狛江市前期基本計画(令和2年3月)及び東京都スポーツ推進総合計画(平成30年3月)の目標値70%との整合性を図ることの妥当性について、狛江市スポーツ推進審議会において検討をした結果、狛江市のスポーツ実施率を令和6(2024)年度末までに70%に引き上げ、これを維持していくものとしました。

令和6(2024)年度末までに

市民のスポーツ実施率を70%に引き上げる

(令和6(2024)年度以降はこれを維持)

1.2 スポーツ推進の意義

平成 23(2011)年 6 月に、「スポーツ振興法」を全面改定した「スポーツ基本法」が制定されました。同法では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」と国の責務を述べています。

令和元(2019)年にラグビーワールドカップ™が開催され、また今年(2020)年は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることにより、スポーツに対する市民の意識は高まってきており、積極的にスポーツを推進していくことが望まれます。

市民が日常的にスポーツ活動を実践することにより、市民相互のふれあいと親睦が深まり、地域の活性化につながる、心身の健康の保持や増進を図ることができる、生きがいづくりと自己実現を図ることができる、子どもの健全育成を図ることができるなどさまざまな効果が期待されます。



ラグビーワールドカップパブリックビューイング
令和元(2019).10.5 日本 VS サモア



パラスポーツ体験事業

1.3 狛江市のスポーツの現状と課題

(1) 市のこれまでの取組

市では、「スポーツを通じた 豊かなまち こまえ」を基本理念として、スポーツ推進を行ってきました。

平成 21(2009)年度	市内体育施設(10 施設)の指定管理開始
平成 22(2010)年度	狛江市総合型スポーツ・文化クラブ(狛〇(こまわ)くらぶ)創設
平成 23(2011)年度	狛江市スポーツ推進計画改定
平成 24(2012)年度	スポーツ祭東京 2013 リハーサル大会(第 67 回国民体育大会関東ブロック大会バレーボール競技(少年男子))開催 狛江市民総合体育館改修工事
平成 25(2013)年度	第 68 回国民体育大会(バレーボール競技(少年男子))開催 狛江市民グラウンド改修工事
平成 26(2014)年度	第 47 回東京都市町村総合体育大会開催 狛江市多摩川緑地公園グラウンド改修工事 西和泉体育館耐震改修工事
平成 27(2015)年度	市民参加型イベント「チャレンジデー」ほか、市制施行 45 周年記念事業として「45 人リレー」等多くのスポーツイベント開催 狛江市スポーツ推進計画改定
平成 29(2017)年度	株式会社読売巨人軍と相互協力に関する協定を締結
平成 30(2018)年度	元和泉市民運動ひろばオープン
平成 31(2019)年度	ラグビーワールドカップ 2019™パブリックビューイング実施 東京フットボールクラブ株式会社(FC 東京)との包括連携に関する協定を締結

(2) 市民のスポーツの現状

①市民スポーツの現状

第4次基本構想前期基本計画の指標の現状値を把握するための市民アンケート結果報告書(令和2年3月)では、スポーツ実施率(週1回以上、何らかのスポーツや運動をしている市民の割合)は、60.1%です。しかしながら、年に1回もスポーツや運動をしていない人も13.4%おり、20代・30代のスポーツ実施率が低くなっているのが現状です。

狛江市のスポーツに関するアンケート調査では、「運動不足を感じる」、「どちらかといえば運動不足を感じる」と回答した人が82.5%と多くいました。スポーツや運動を行う場所では、道路・遊歩道や自宅と回答する人が多く、日常生活に近い場所でスポーツや運動を行っていることが伺えます。スポーツや運動をする目的としては、健康・体力づくり、運動不足を感じているために行っている人が多く、競技性を追及して行っている人は少なかったです。

②体育施設の現状

狛江市には、市民総合体育館をはじめ、西和泉体育館、元和泉市民テニスコート、東野川市民テニスコート、狛江市民グラウンド、西和泉グラウンド、狛江市多摩川緑地公園グラウンド、元和泉スリーオンスリーコート、元和泉市民運動ひろば、狛江市民プールがあり、指定管理による管理を行っています。体育施設では、貸し出し利用のほか、狛江市や指定管理者による事業も数多く開催しています。

過去5年間の体育施設利用件数

施設名	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	利用者数 (延人数)
	市民グラウンド	1,153件	1,020件	926件	962件	
多摩川緑地公園グラウンド	1,726件	1,554件	1,335件	1,482件	732件	63,022人
西和泉グラウンド	887件	825件	852件	895件	563件	15,308人
西和泉体育館	1,396件	1,325件	1,329件	1,363件	1,075件	16,806人
市民テニスコート(東野川,元和泉)	7,500件	7,491件	7,495件	7,336件	7,429件	31,425人
市民プール(単位:延人数)	20,213	19,260	18,905	22,146		20,913人
市民総合体育館(単位:延人数)	183,742	185,264	226,581	213,189		193,559人

※平成31(2019)年度については、令和元年東日本台風の影響により多摩川緑地公園グラウンド・西和泉グラウンド・西和泉体育館を一部閉鎖した。

③障がい者スポーツの現状

平成 31(2019)年度末時点で、市内にお住まいの方の身体障害者手帳所持者数は 1,970 人(うち、18 歳未満は 55 人)、知的障がいの方を対象とする愛の手帳の所持者数は 427 人(うち、18 歳未満は 95 人)、また、同年度中の精神保健福祉手帳交付者数は 379 人です。

障がい者スポーツは、狛江市が体験教室等を行っているほか、体育施設では、障がい者団体が定期的にスポーツ・レクリエーション活動を行っています。

狛江市のスポーツに関するアンケート調査では、障がい者スポーツの関わりとしてテレビ等で間接的に見たことがあると回答した方が 67.2%であり、間接的な関わり方をしている方が多くなっています。

④スポーツ団体の現状

特定非営利活動法人狛江市体育協会には、多くのスポーツ団体が加盟しており、現在、21 の競技団体に約 3,200 名が所属しています。

体育協会は、独自事業はもとより、狛江市から受託した市民スポーツ大会や、市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルなどのスポーツ事業を実施しているほか、体育施設の指定管理者の代表団体として市民のスポーツ活動を推進しています。

狛江市唯一の総合型地域スポーツクラブである狛江市総合型スポーツ・文化クラブ(狛〇くらぶ)は、平成 22(2010)年度に設立し、現在約 200 名の会員が所属しており、だれもが気軽にスポーツ・レクリエーション活動を親しむことができる場を提供しています。

その他 470 を超える団体が、教育委員会に登録してスポーツ活動を行っているとともに、大会等を通してそれぞれの会員が交流を図っています。

(3) 今後の課題

①スポーツ環境の課題

アンケート調査では、スポーツ施設に関する意見を多くいただきましたが、市内の土地活用に鑑みると新たにスポーツ施設を整備することは難しい状況にあります。今後、既存施設を改修する際等にその内容を見直すことで、市民ニーズに応えられるように、より幅広い人達にスポーツ施設の利用を促進していくことが課題です。また、スポーツ施設の利用についての地域間格差を解消するために、既存の環境を活かしていくことも課題です。

アンケート調査では、今後スポーツや運動する頻度を上げるために必要なこととして、自分の意欲を挙げる人が半数以上おり、気軽にスポーツが出来る環境を整え、意欲につながるきっかけを作ることも課題です。

②スポーツ・運動を通した心身の健康づくりの課題

生活習慣病(肥満・血圧・血糖・中性脂肪など)やメタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)、また、ロコモティブシンドローム(脚を中心とした運動器障がい)、サルコペニア(骨格筋量・骨格筋力低下ほかなどの症候群)の予防と解消及び老化予防には、スポーツや運動の実践が有効です。的確な予防や解消につながるように保健部門や福祉部門と連携して、施策を進めていくことが重要です。

また、アンケート調査によると、20代・30代までの世代のスポーツ実施率が低い状況です。仕事や家事、育児が忙しいこの世代の人たちに対していかに日常的にスポーツや運動を実施するよう施策を推進していくかが課題となっています。通勤や買い物、子どもの送迎をできるだけ徒歩で行うなど、気軽に体を動かすことの啓発活動や場づくりを行っていくことが必要です。

③スポーツに求められる新たな役割の課題

スポーツや運動は、健康の保持増進のためや競技性の迫及など、「する」ものが主となっていました。

しかし、これからのスポーツには、「する」のほか、「みる」・「支える」スポーツがより市民の生活の中に浸透することにより、何らかの理由によりスポーツを「する」ことが困難であったり、苦手意識がある人にもスポーツに触れることで、楽しいと思ったり爽快感を感じるといったことも期待できます。スポーツや運動が持つ人と人とのつながりを生み出し、また楽しさなどを共有する力をいかにして活かしていくかが課題です。また、スポーツボランティアの人材育成と、スポーツ事業での活用等スポーツを支える事業展開のあり方についても課題です。

第2章 基本理念及び基本目標

2.1 基本理念

「スポーツを通じた 豊かなまち こまえ」

狛江市スポーツ推進計画における基本理念を「スポーツを通じた 豊かなまち こまえ」と定めます。

市民が地域でスポーツ活動を「いつでも・どこでも・だれでも」実践できる環境を整え、市民のスポーツ実施率を70%に引き上げそれを維持します。併せて「みる」「支える」スポーツを推進し、「する」「みる」「支える」等色々な形により全ての市民がスポーツ活動に関わることを目指します。

日ごろのスポーツ活動が、市民のふれあいと親睦、健康体力の保持・増進、子どもの健全育成、自己実現と生きがいづくりにつながり、豊かなまちこまえへとつながります。

2.2 基本目標

基本目標

1

スポーツを楽しむ環境の整備

スポーツは、「する」「みる」「支える」等色々な形で、誰もが気軽に楽しめるものです。高い志や大きな負荷がなくとも、ちょっとした運動をすることで生活がより豊かになります。市民が、地域でスポーツ活動を「いつでも・どこでも・だれでも」実践できる環境を整えるとともに、「みる」「支える」といった多様な形で、スポーツの楽しみや価値を実感できるような環境を整備していきます。

基本目標

2

豊かな生活のためのスポーツの推進

スポーツ基本法の前文には、「スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠」であると規定されています。市民が気軽に、継続的にスポーツに親しむことによって、体力が向上し、健康が維持・増進されることで、いつまでも健康的な暮らしを送ることができる健康長寿の実現・QOL[※]の向上へとつながります。

基本目標

3

スポーツを通じたコミュニティの活性化

狛江市は、コンパクトであるという市の特性から、市民同士の距離が近く、様々な地域コミュニティが存在しています。スポーツや運動は、人と人とのつながりを生み出し、また楽しさなどを共有することができます。地域でスポーツや運動に何らかの形で参加することにより、社会参加の場として新たな交流や連帯感を生み出すきっかけとなり、今後もより一層地域コミュニティ活動が幅広い世代の参加により盛んに行われていくよう支援していきます。

※QOL-Quality of Life 私たちが生きていく上での満足度を表す指標のひとつ、「生活の質」

「する」・「みる」・「支える」スポーツ



「する」スポーツ

「するスポーツ」については、サッカーや陸上競技などルールに基づいて、勝敗や記録を競う競技性の高いものから、日常の散歩やジョギングなどそれが意識的に身体を動かすことであれば、それをスポーツとして捉え、その活動を推進していきます。



「みる」スポーツ

「みるスポーツ」については、体育館・スタジアム等でプロスポーツ選手やトップアスリートのプレーを直接観戦することだけでなく、テレビやインターネット配信等での観戦も含まれます。こうした幅広い範囲で「みるスポーツ」を推進していきます。



「支える」スポーツ

大会の運営やサポートなどを行うスポーツボランティア以外にも、試合の審判やスポーツを教えることもスポーツを支える存在です。「する」・「みる」に加えて、「支える」もスポーツを推進していく上で不可欠なものと考えます。

第3章 基本目標を達成するための具体的な施策

3つの基本目標の実現に向けて、9の施策を定めるとともに、スポーツを「する・みる・支える」といった視点から施策を推進していきます。



基本目標 1 スポーツを楽しむ環境の整備

① 体育施設の充実と活用の促進

体育施設をより幅広い人達に利用してもらえる施設となるよう、大規模修繕に併せて、市民ニーズを踏まえてその内容の見直しを検討します。また、施設利用の方法や団体登録制度などのソフト面の変更も検討します。

② 「みる」スポーツの推進

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で、パブリックビューイングを実施し、見る機会を増やすことで「みる」スポーツを推進します。また、協定を締結している FC 東京や読売ジャイアンツと協力し、スタジアムでスポーツを観る機会を創出していきます。

③ 競技力向上体制の整備

プロスポーツ選手や、オリンピックなどを招へいする小中学生向けのスポーツイベントを実施し、一流選手の技術に触れる機会を提供することで、意識の向上及び技術力の強化を図ります。また、指導者の養成について、スポーツ指導者講習会等を行い、資質の向上に努めるとともに、他機関が開催する講習会等への参加を促していきます。

スポーツにおける国際大会や、全国大会などに出場して優秀な成績を収めた者を表彰することや、その活動を支援する施策を検討していきます。

④ 障がい者スポーツの推進

障がいのある人が、身近にスポーツに親しめる環境づくりには、スポーツを行う場の確保が重要です。障がい者団体や、指定管理者等と協議をしながら、日常的にスポーツを行える場を作っていきます。また、スポーツ推進委員会を中心に障がい者スポーツ指導の専門知識を習得するための講習会への参加を促進し、指導者を養成していきます。

⑤ 新しい生活様式の中でのスポーツの推進

「新しい生活様式」として、中長期にわたって新型コロナウイルス感染症対策と向き合う中で、健康を維持する上では、身体を動かしたりスポーツを行うことが必要です。屋内や屋外で、安全・安心にスポーツ・運動が出来るような取組を進めていきます。また、その際には新しいスポーツの形である e スポーツの活用も検討します。

基本目標 2 豊かな生活のためのスポーツの推進

⑥スポーツを行う意識の啓発

ライフステージや関心の度合い等に応じて、気軽にスポーツに取り組める機会を充実していきます。特に普段スポーツをする機会のない人たちのために、スポーツや運動を行うことのきっかけとなるような事業を展開していきます。スポーツの各種情報を市民に伝えるために、ホームページの充実やツイッター、フェイスブックなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用し、情報を提供していきます。

⑦スポーツ・運動を通じた心身の健康づくり

スポーツや運動をしないことの弊害や、運動実践の方法と効果をわかりやすく解説する「健康づくり運動講座」等を開設し、市民への啓発を図り、健康長寿の実現につなげます。その際は多摩川の活用など、狛江市の特性を活かして進めていきます。

基本目標 3 スポーツを通じたコミュニティの活性化

⑧スポーツを通じた多世代交流機会の創出

気軽に参加することができる地域のスポーツイベントを開催することで、子どもから高齢者まで多世代が交流できる機会を創出します。また、コミュニティの最小単位である家族でスポーツを楽しむ機会を創出し、家族のふれあいを増やします。

⑨地域における体育施設の充実

地域におけるスポーツコミュニティの場として、市民総合体育館をはじめとする体育施設と市立小中学校の校庭や体育館の有効活用を図っていきます。

第4章 計画の推進

本計画を推進するため、各主体が相互に役割分担と連携を図りながら取組を進める必要があります。

① 狛江市教育委員会の役割

本計画を策定し、計画に基づく事業を行っていきます。「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」スポーツをする環境づくりを進めるためには、各種機関との連携と協力を進めていく必要があります。教育委員会は、スポーツを通じた健康づくりが効果的に発揮できるように、保健部門や福祉部門、スポーツ推進委員と連携して市民のスポーツ活動を支援していきます。

スポーツ推進の一翼を担っている特定非営利活動法人狛江市体育協会と指定管理者、また、狛江市総合型スポーツ・文化クラブ(狛〇くらぶ)がその機能を効果的に発揮できるよう条件整備をするとともに、それらの機関と市民が協働して生涯スポーツ社会への取組ができるよう調整機能を果たしていきます。

② 狛江市スポーツ推進審議会の役割

狛江市スポーツ推進審議会は、条例の規定に基づき、教育委員会の諮問に応じて、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項について調査審議し、答申するとされています。

③ 狛江市スポーツ推進委員会議の役割

スポーツ推進委員は、レクリエーション吹矢などのニュースポーツや市民を対象としたスポーツ教室などの事業を積極的に展開し、市民の健康・体力づくり活動を行っていますが、今後はスポーツを行っていなかった人にも、気軽にスポーツに参加してもらうための企画立案やコーディネーターとして、地域のスポーツ活動を推進していく役割が期待されます。

④ 狛江市体育協会の役割

特定非営利活動法人狛江市体育協会は、スポーツに関する各種事業を展開することによって、市民の健康増進及び体力の向上に深く寄与しており、今後、生涯スポーツ活動の担い手としてより多くの期待が持たれています。また、競技スポーツ団体の統括組織として、ジュニアスポーツの育成やシニアスポーツの普及、また、加盟団体の増加促進及び組織強化をより一層進めるとともに、さらに競技者や指導者の育成などが期待されます。

⑤ 体育施設指定管理者の役割

平成 21(2009)年度から指定管理者制度を導入し、3 期目の 2 年目を迎え、安定した運営を行っています。引き続き、体育施設の管理運営を適切に実施していくとともに、多様なニーズに対応したプログラムをハード・ソフト両面において、より一層提供していくことが望まれます。また、民間体育施設運営のノウハウを活かして、教育委員会やスポーツ団体と協力して市民のスポーツ推進を進めていくことが求められています。

⑥ 狛江市総合型スポーツ・文化クラブ(狛〇くらぶ)の役割

狛江市総合型スポーツ・文化クラブ(狛〇くらぶ)は、地域住民が主体となって運営するスポーツクラブです。今後は、さらにクラブが市民に認知され、会員増加と会員がクラブ運営に積極的に参加して、身近な地域で幅広い年齢層を対象に、気軽に参加できるような活動を展開し、クラブが自立的かつ継続的に運営されていくことが期待されます。また、スポーツ振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた事業を展開し、地域の生涯スポーツの担い手としての役割や、地域コミュニティの形成の役割も求められます。



少年少女スポーツ大会総合開会式



少年少女綱引き大会

資料編

- 1 狛江市スポーツ推進審議会条例
- 2 検討経緯
- 3 狛江市の体育施設
- 4 特定非営利活動法人狛江市体育協会加盟団体
- 5 狛江市のスポーツに関するアンケート調査結果



協定を締結している読売ジャイアンツによる野球教室



協定を締結している FC 東京によるオンライン授業

1 狛江市スポーツ推進審議会条例

狛江市スポーツ推進審議会条例

平成 13 年 3 月 29 日条例第 7 号

(設置)

第 1 条 狛江市におけるスポーツの推進を図るため、スポーツ基本法(平成 23 年法律第 78 号)第 31 条の規定により狛江市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第 2 条 審議会は、狛江市教育委員会(以下「委員会」という。)の諮問に応じて、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項について調査審議し、答申する。

(定数)

第 3 条 審議会の委員の定数は、10 人以内とし、委員会が委嘱する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長等)

第 5 条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第 7 条 審議会に特定の事項を調査検討させるために、部会を置くことができる。

(委任)

第 8 条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

2 検討経緯

(1) 検討体制

本計画は、狛江市スポーツ推進審議会条例第2条に基づき「狛江市スポーツ推進審議会」において改定を検討してきました。

(2) 検討経過

日付	会議等	内容
令和2(2020)年5月	市民及び団体アンケート	
令和2(2020)年8月6日	令和2年度第1回狛江市スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none">・狛江市スポーツ推進計画の見直しについて(諮問)・市民意識調査結果について・現行計画の進捗状況について・スポーツの定義について・スポーツ推進計画骨子案について
令和2(2020)年10月6日	令和2年度第2回狛江市スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none">・狛江市スポーツ推進計画(素案)について
令和2(2020)年11月5日	令和2年度第3回狛江市スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none">・狛江市スポーツ推進計画(素案)について・パブリックコメント・市民説明会の実施について
令和3(2021)年3月4日	令和2年度第4回狛江市スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none">・パブリックコメント・市民説明会の実施結果について・最終答申について

(3) 委員名簿

◎会長、○副会長

氏名	所属
◎秋元 恵司	特定非営利活動法人狛江市体育協会会長
五十嵐 夕介	公募市民委員
金子 奈々	公募市民委員
○島本 和彦	狛江市総合型スポーツ・文化クラブ会長
須貝 昭彦	狛江市指定管理体育施設総括責任者
武田 新栄	狛江市卓球連盟副会長
並木 ヒロ子	障がい者スポーツ実践者
松葉 優	狛江市陸上競技協会理事長
敦澤 雅規	狛江第四中学校副校長
加藤 達朗	狛江市福祉保健部高齢障がい課長

3 狛江市の体育施設

狛江市民総合体育館

狛江市和泉本町三丁目 25 番 1 号

延床面積：5,887.87 m²

【施設内容】

施設名	規模	主な使用種目等
(1) 第1体育室	1,262 m ²	バレーボール3面・バスケットボール2面・卓球29台・バドミントン6面
(2) 第2体育室	345 m ²	バレーボール1面・バスケットボール1面・卓球8台・バドミントン3面
(3) 第3体育室	173 m ²	軽体操・エアロビクス等
(4) 第1格技室(板)	195 m ²	剣道・空手道・少林寺拳法等
(5) 第2格技室(畳)	(98畳)195 m ²	柔道・合気道・気功法・ヨガ等
(6) トレーニング室	150 m ²	トレーニング
(7) スタジオ	105 m ²	プログラム教室
(8) ランニング走路	1周 150m	ランニング・ウォーキング
(9) 会議室	96 m ²	会議・講習会等
(10) 多目的ルーム	68 m ²	ダンス・バレエ・軽体操・会議・講習会等
(11) その他	更衣室、放送室、ラウンジ、キッズルーム	

元和泉市民テニスコート

狛江市元和泉二丁目 8 番 1 号

面積：3,567.18 m²

【施設内容】

管理棟・全天候型テニスコート4面

使用種目：硬式テニス・軟式テニス

東野川市民テニスコート

狛江市東野川三丁目 14 番 10 号

面積：3,087.03 m²

【施設内容】

管理棟・全天候型テニスコート3面

使用種目：硬式テニス

狛江市民グラウンド

狛江市和泉本町二丁目 15 番 2 号

面積：9,613.28 m²

【施設内容】

管理棟・グラウンド

使用種目：軟式野球・ソフトボール・サッカー・グラウンドゴルフ等

狛江市多摩川緑地公園グラウンド

狛江市猪方四丁目 1 番

面積：13,306.49 m²

【施設内容】

野球グラウンド 2 面

使用種目：軟式野球・ソフトボール・サッカー・グラウンドゴルフ等

狛江市民プール

狛江市和泉本町三丁目 25 番 1 号

面積：1,086 m²

【施設内容】

変形 L 型プール(50m×17m・25m×17m)・幼児用プール

更衣室・シャワー室・事務室・医務室兼相談室・監視員控室等

西和泉体育館

狛江市西和泉一丁目 16 番 1 号

面積：694 m²

【施設内容】

管理人室・体育館

使用種目：バレーボール・バスケットボール(小学生)・ビーチボール等

西和泉グラウンド

狛江市西和泉一丁目 16 番 1 号

面積：7,236 m²

【施設内容】

倉庫・グラウンド

使用種目：少年野球・ソフトボール・少年サッカー等

元和泉スリーオンスリーコート

狛江市元和泉二丁目8番1号

面積：163㎡

【施設内容】

3人制バスケットコート2面

元和泉市民運動ひろば

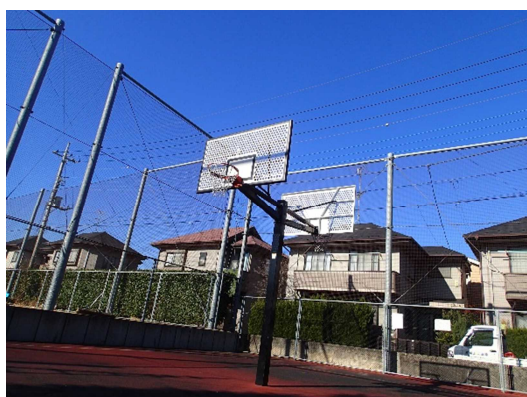
狛江市元和泉三丁目10番

面積：841.68㎡

【施設内容】

スポーツ広場

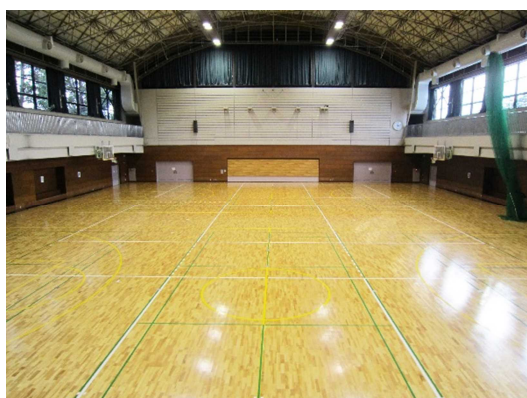
使用種目：ボール遊び・ターゲットバードゴルフ等



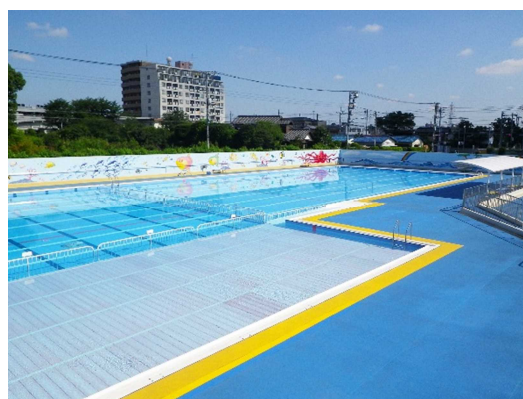
元和泉スリーオンスリーコート



狛江市民グランド



狛江市民総合体育館第1体育室



狛江市民プール

4 特定非営利活動法人狛江市体育協会加盟団体

NO	団体名	NO	団体名
1	狛江市軟式野球連盟	12	狛江市ダンススポーツ連盟
2	狛江市卓球連盟	13	狛江市ラジオ体操会連盟
3	狛江市バドミントン協会	14	狛江市剣道連盟
4	狛江市民ゴルフ連盟	15	狛江市ビーチボール協会
5	狛江市バレーボール協会	16	狛江市ソフトボール協会
6	狛江市陸上競技協会	17	狛江市学童軟式野球連盟
7	狛江市硬式テニス協会	18	狛江市少年少女サッカー連盟
8	狛江市空手道連盟	19	狛江市ターゲット・バードゴルフ協会
9	狛江市バスケットボール連盟	20	狛江市ラグビーフットボール協会
10	狛江市水泳協会	21	狛江市ヨガ協会
11	狛江市柔道クラブ		

5 狛江市のスポーツに関するアンケート調査結果

アンケート概要

1. アンケート目的

市民のスポーツの実施状況やスポーツや市のこれまでの取組に対する市民の意見などを聴き、スポーツ推進計画改定にあたっての参考資料とする。

2. アンケート期間

令和2(2020)年5月26日～6月19日

3. アンケート方法

郵送法及びメール

4. 対象者数

(1) 市民向けアンケート

市内に居住する15歳以上の住民基本台帳からの無作為抽出2,000人

(2) 団体向けアンケート

体育協会加盟団体21団体及び総合型スポーツ・文化クラブ1団体

5. 回答数

(1) 市民向けアンケート

989人(回答率49.5%)

(2) 団体向けアンケート

20団体(回答率90.9%)

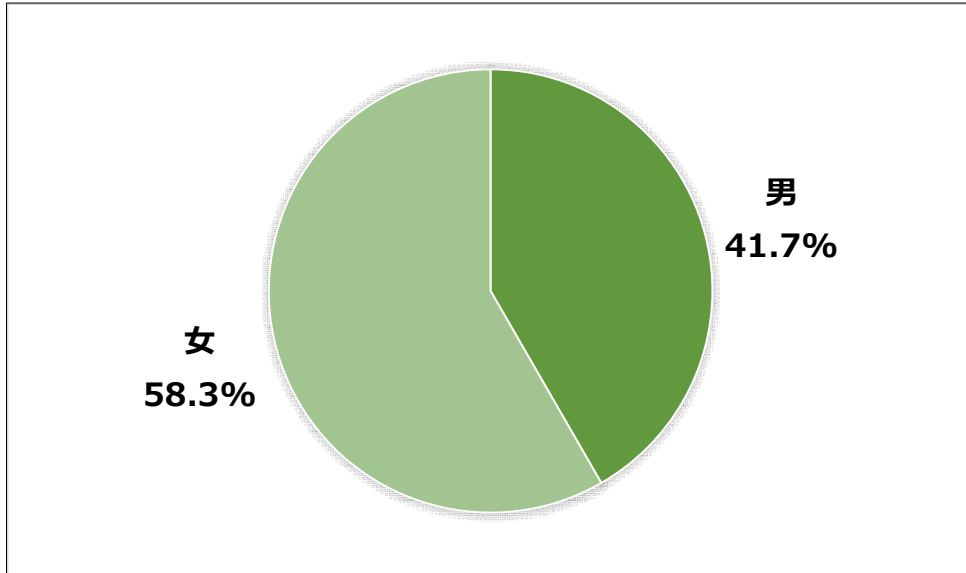
6. その他

- 1) アンケート結果の集計に当たっては、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。
- 2) (n)は当該設問の回答者数(母数)である。
- 3) 複数の回答が可能な設問では、構成比の合計が100%を超える場合がある。

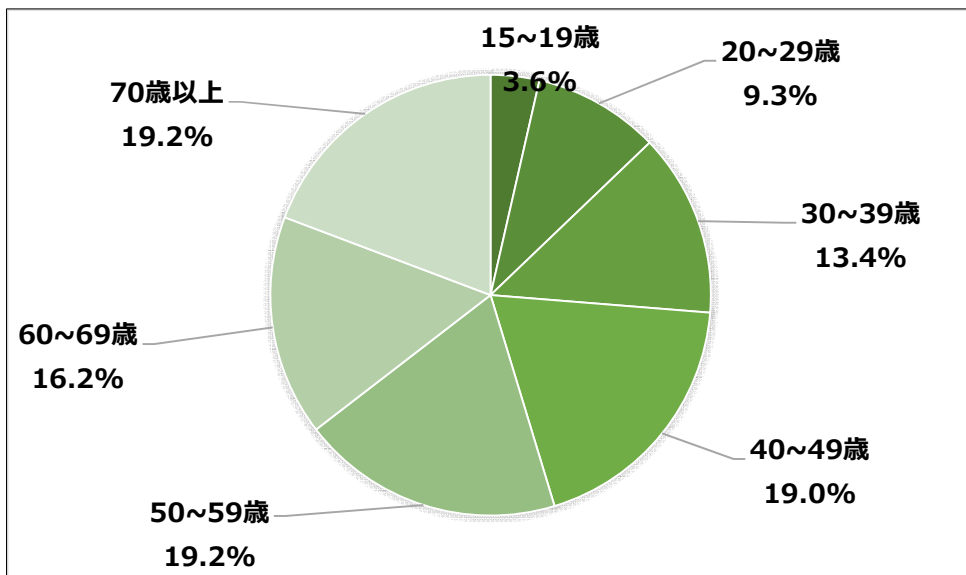
市民向けアンケート集計調査結果

(1) 回答者属性

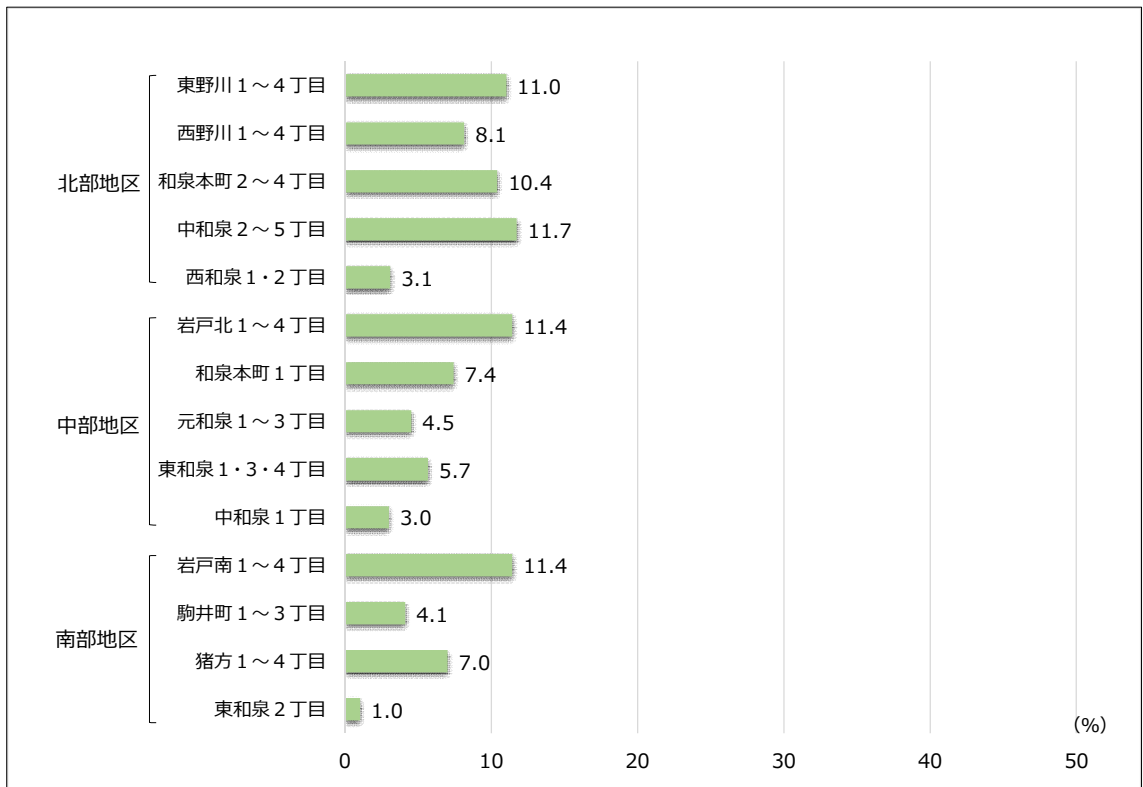
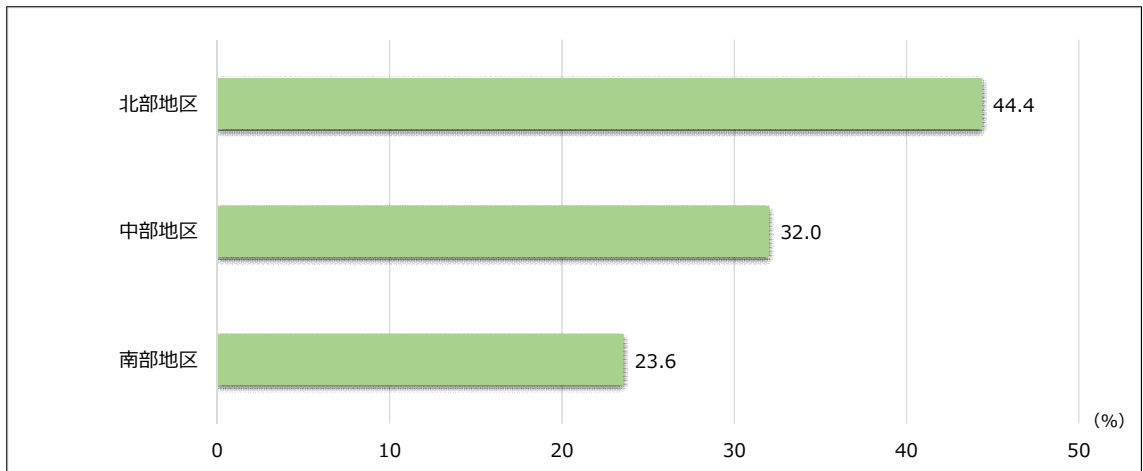
1) 性別 (n=938)



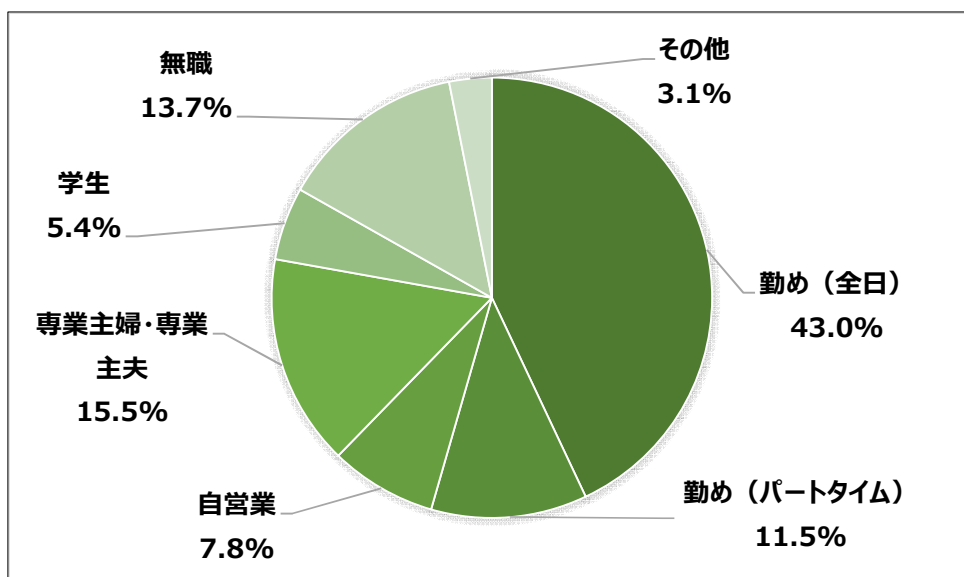
2) 年齢 (n=982)



3) 居住地区 (n=971)



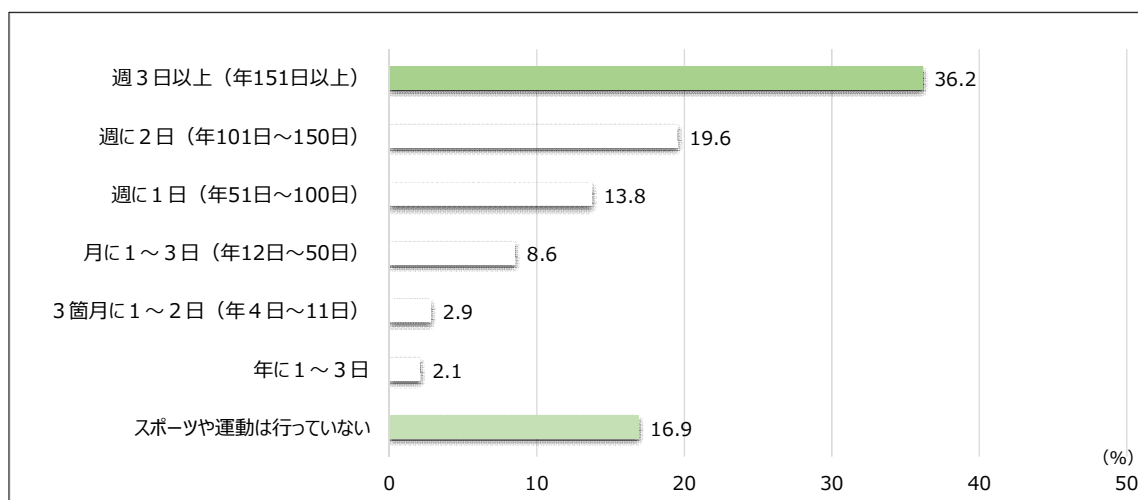
4) 職業 (n=933)



(2) スポーツの実施状況などについて

問1 あなたは、スポーツや運動をどれくらいの頻度で行っていますか。【単回答】

(n=981)



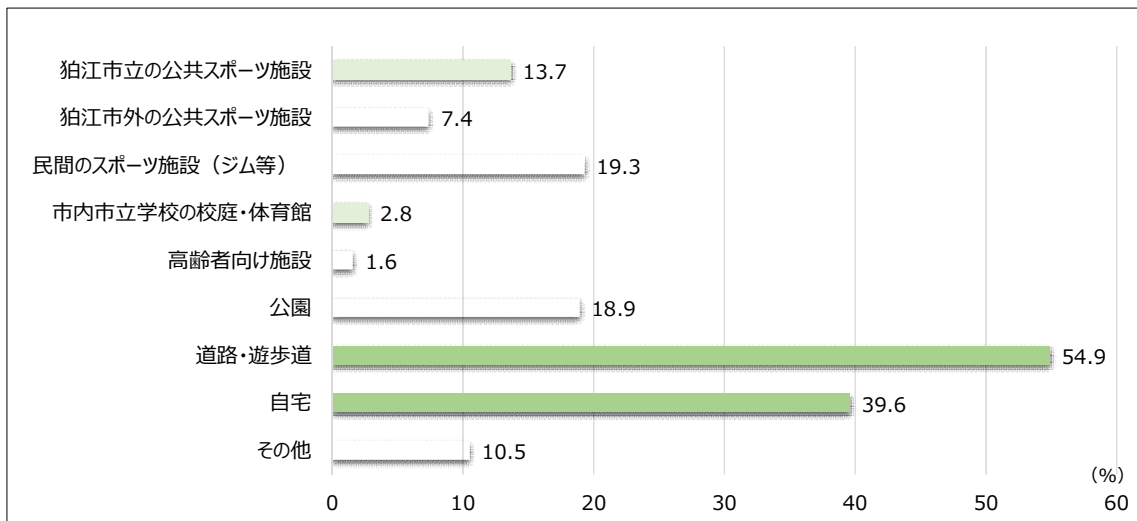
■ 回答者の36.2%の方が週3日以上スポーツ・運動をしている一方で16.9%の方はまったくスポーツや運動をしていなかった。

年齢別スポーツ実施頻度

	週3日以上 (年151日以上)	週に2日 (年101日~150日)	週に1日 (年51日~100日)	月に1~3日 (年12日~50日)	3箇月に1~2日 (年4日~11日)	年に1~3日	スポーツや運動は行っていない
15~19歳	57.1%	17.1%	2.9%	2.9%	5.7%	0.0%	14.3%
20~29歳	28.9%	17.8%	18.9%	7.8%	7.8%	4.4%	14.4%
30~39歳	28.8%	22.7%	13.6%	13.6%	6.1%	3.0%	12.1%
40~49歳	25.7%	23.0%	17.1%	12.3%	3.2%	1.1%	17.6%
50~59歳	34.0%	21.3%	14.4%	9.0%	1.1%	3.2%	17.0%
60~69歳	42.1%	17.0%	13.8%	8.2%	1.3%	1.9%	15.7%
70歳以上	48.6%	16.2%	9.7%	2.7%	0.5%	1.1%	21.1%
全体	36.2%	19.6%	13.8%	8.6%	2.9%	2.1%	16.9%

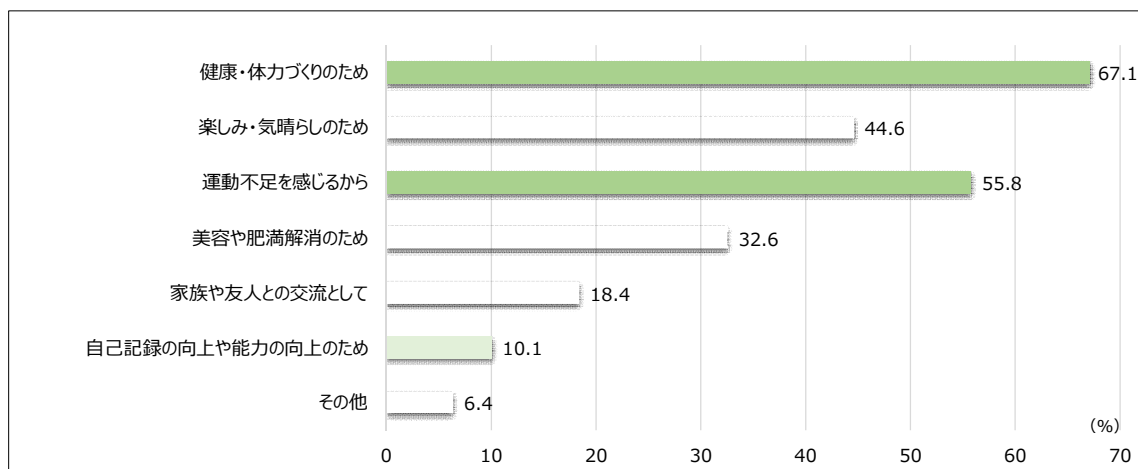
- 週3日以上スポーツ・運動をしている割合は10代の方が他の年代と比較すると最も高く、20代~40代の方は週に1日未満しかスポーツ・運動をしていない割合が他の年代と比較すると高かった。70歳以上の方は、週3日以上スポーツ・運動をしている割合が高かったが、スポーツや運動を全くしない割合も高かった。

問2 (スポーツ・運動を行っている方のみ回答) あなたが、スポーツや運動を行う場所は、主にどこですか。【複数回答】(n=798)



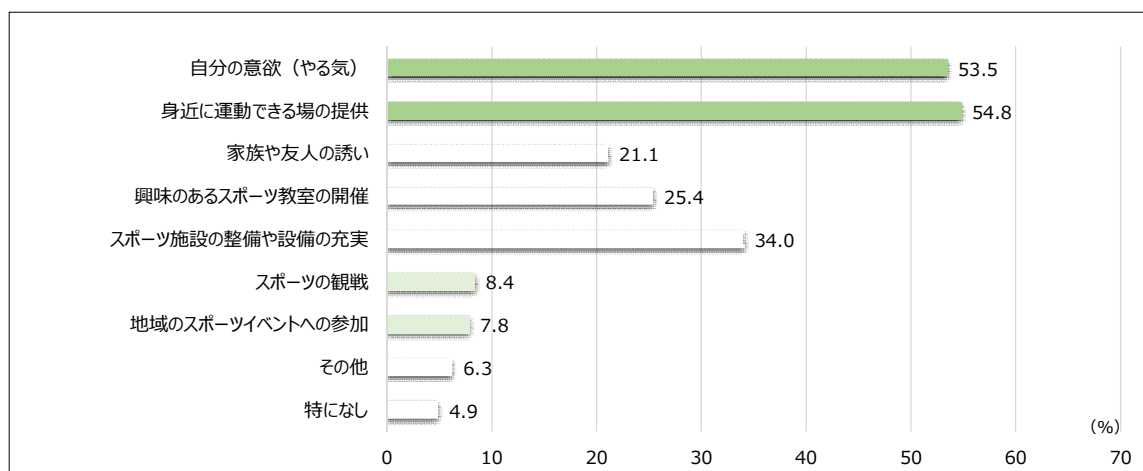
- 道路・遊歩道や自宅を利用してスポーツや運動をする方が多かった。一方で運動目的の施設である狛江市のスポーツ施設や学校施設を利用する方はあまり多くなかった。
- その他では職場や多摩川河川敷を具体的な場所として挙げる方が多かった。

問3 (スポーツ・運動を行っている方のみ回答) あなたが運動やスポーツをしたのはどのような理由からですか。【複数回答】(n=706)



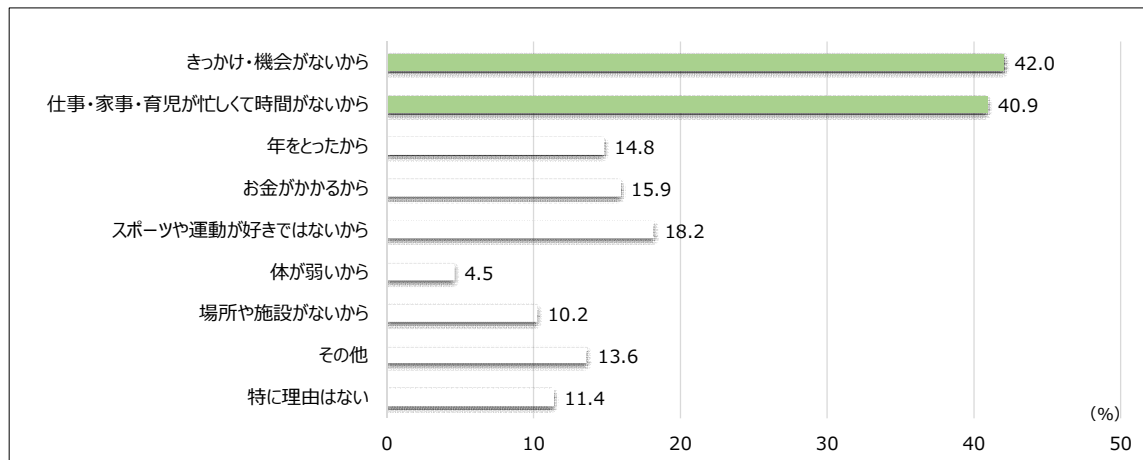
- 健康・体力づくり、運動不足を感じているために運動やスポーツをする方が多く、競技性を追及して運動やスポーツをする方はあまり多くなかった。
- その他ではペットの散歩と回答する方が多かった。

問4 (スポーツ・運動を行っている方のみ回答) あなたは今後、どのようなきっかけ・チャンスがあったらスポーツや運動する頻度を増やすと思いますか。【複数回答】(n=752)



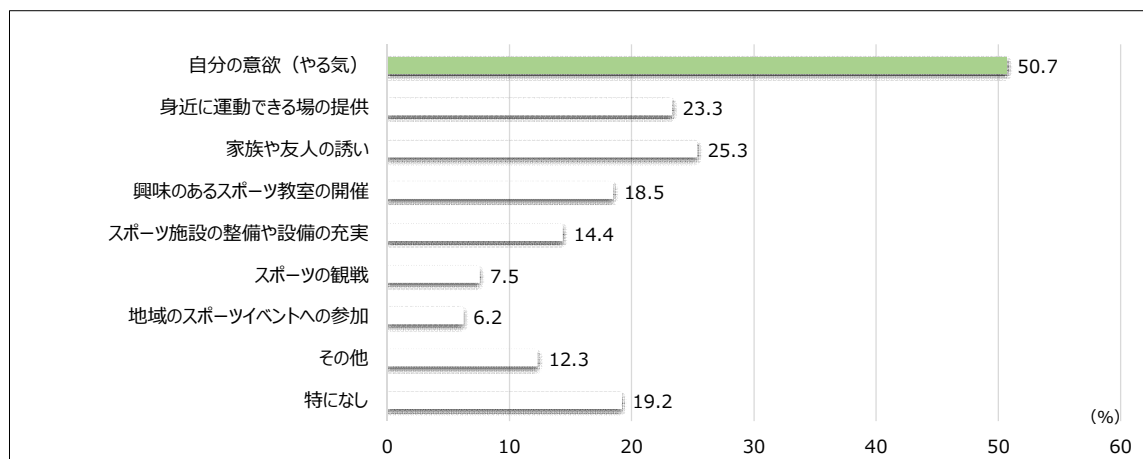
- 今後スポーツや運動をする頻度を増やすきっかけとしては、身近に運動できる場の提供や自分の意欲を上げる方が多く、スポーツの観戦や地域のスポーツイベントへの参加をあげる人は少なかった。
- その他では、スポーツや運動をする時間が確保できたらと回答する方が多かった。

問5 (スポーツ・運動を行っていない方のみ回答) あなたが、この1年間にスポーツや運動を行わなかった理由は何ですか。【複数回答】(n=88)



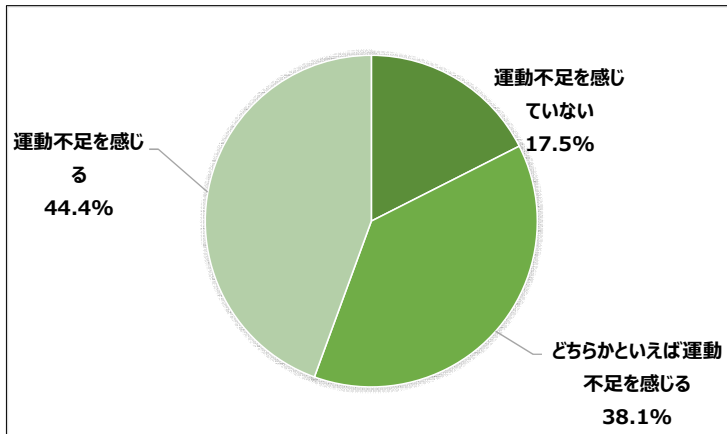
- スポーツ・運動を行わない理由としてはきっかけ・機会がないからや時間がないからを挙げる方が多かった。
- その他では怪我や病気を理由に挙げる方が多かった。

問6 (スポーツ・運動を行っていない方のみ回答) あなたは今後、どのようなきっかけ・チャンスがあったらスポーツや運動をしたいと思いますか。【複数回答】(n=146)



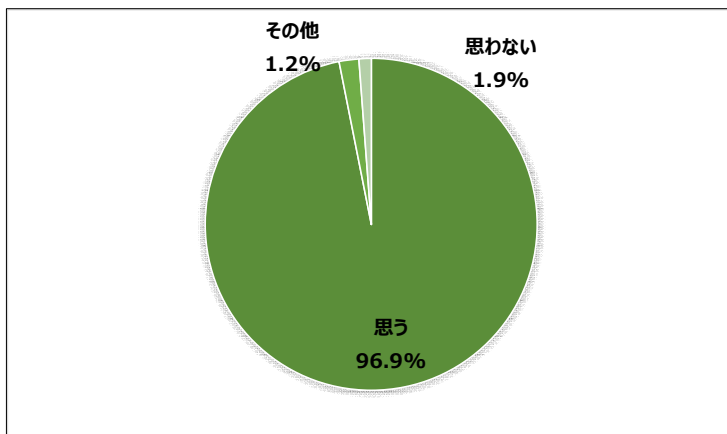
- スポーツや運動を行っていない方は、自分の意欲があれば今後スポーツや運動をすると回答した方が多かった。

問7 普段、運動不足を感じていますか。【単回答】(n=959)



■ 運動不足を感じる、または、どちらかといえば感じる方が 82.5%いた。

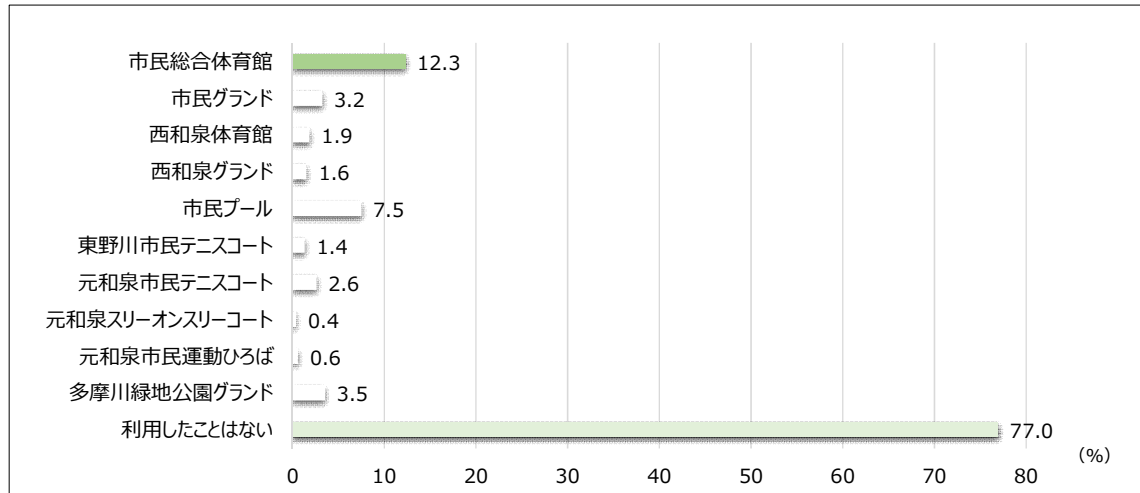
問8 (運動不足を感じている方のみ回答) 運動不足を解消したいと思いますか。【単回答】(n=416)



■ 運動不足を感じている人のほとんどの方がそれを解消したいと回答した。

(3) 市のスポーツ施設について

問9 次の狛江市立スポーツ施設を過去1年以内に利用したことがありますか。【複数回答】(n=959)



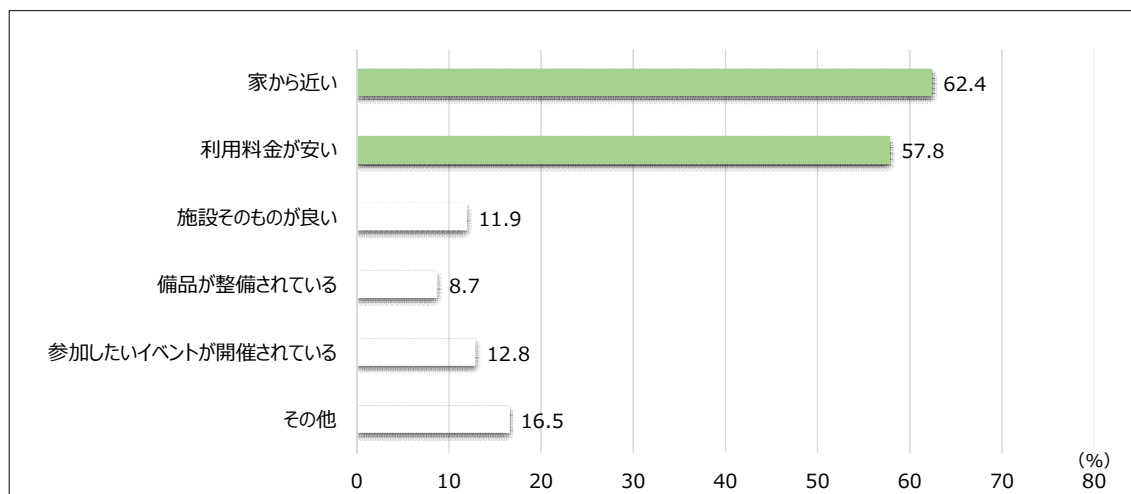
■ 利用している施設では、市民総合体育館が多かったが、77%の方は、狛江市立スポーツ施設を過去1年以内に利用しなかった。

地域別スポーツ施設利用

	市民総合体育館	市民グラウンド	西和泉体育館	西和泉グラウンド	市民プール	東野川市民テニスコート	元和泉市民テニスコート	元和泉スリーオンスリーコート	東野川市民テニスコート	多摩川緑地公園グラウンド	利用したことはない
北部	15.5%	3.9%	2.2%	1.9%	8.0%	1.5%	1.9%	0.2%	0.7%	3.4%	73.5%
中部	9.8%	3.9%	2.0%	2.0%	7.5%	2.0%	3.9%	0.7%	1.0%	2.9%	79.1%
南部	9.8%	1.3%	1.3%	0.4%	6.7%	0.0%	1.8%	0.4%	0.0%	4.4%	80.9%
全体	12.3%	3.2%	1.9%	1.6%	7.5%	1.4%	2.6%	0.4%	0.6%	3.5%	77.0%

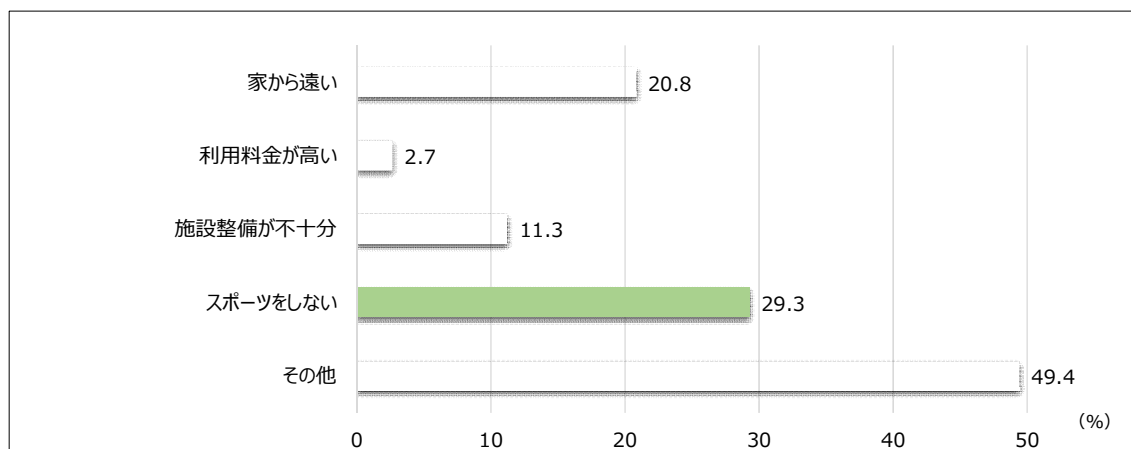
■ 地域別に見ると市民総合体育館は、北部に住んでいる方は利用する割合が他の地域と比べて高く、中部・南部に住んでいる方はどこも利用しないと回答する割合が高かった。

問 10 （過去 1 年に狛江市立のスポーツ施設を利用したことのある方のみ回答） 狛江市立スポーツ施設を利用する理由は何ですか。【複数回答】（n=218）



- 狛江市立のスポーツ施設を利用する理由としては、家から近いや利用料金が安いを挙げる方が多かった。

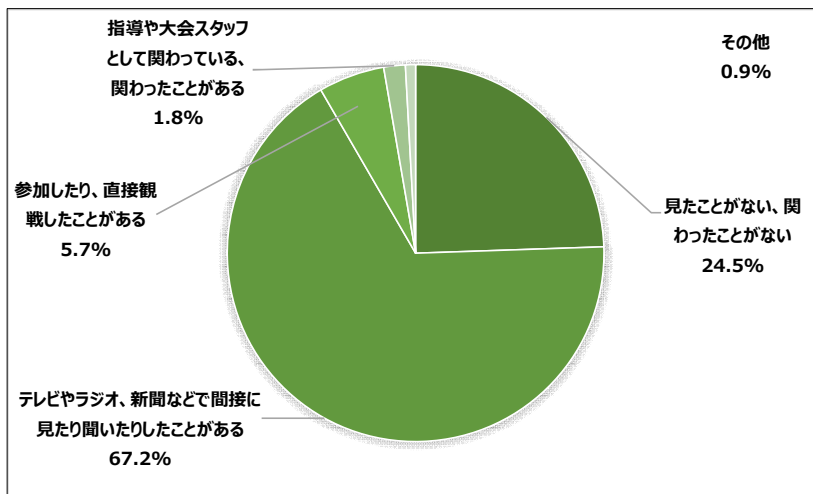
問 11 （過去 1 年に狛江市立のスポーツ施設を利用したことのない方のみ回答） 利用しない理由は何ですか。【複数回答】（n=710）



- 狛江市立のスポーツ施設を利用する理由としては、スポーツをしないと回答する方が多かった。
- その他では存在を知らない、利用しづらい、時間がないなどの回答が多かった。

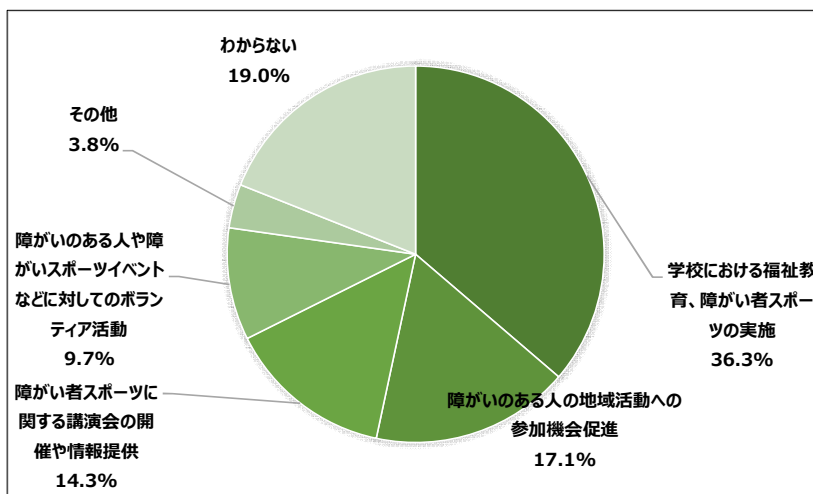
(4) 障がい者スポーツについて

問 12 障がい者スポーツへの関わりについてお聞きします。【単回答】(n=920)



■ テレビ等で間接的に見たことがあると回答した方が 67.2%であった。

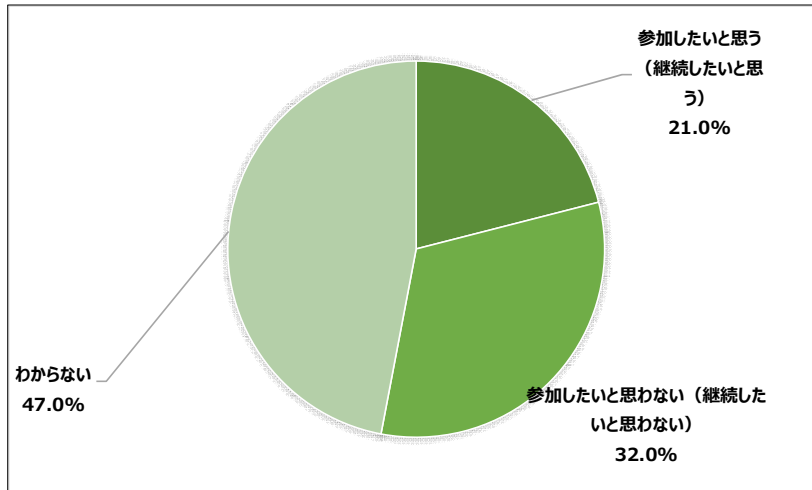
問 13 市民に障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なことは何だと思えますか。【単回答】(n=849)



■ 市民に障がい者スポーツに対する理解を深めるために必要なことは、学校での教育・障がい者スポーツの実施、障がいのある人の地域活動への参加促進の順に多かった。

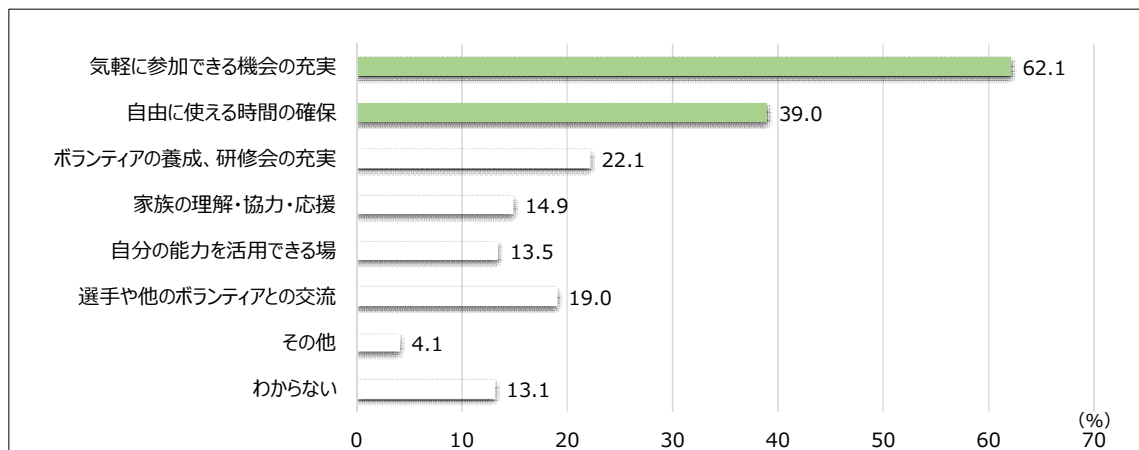
(5) スポーツに関するボランティア活動について

問 14. あなたは、今後スポーツに関するボランティア活動へ参加したいと思いますか。【単回答】 (n=853)



■ スポーツに関するボランティア活動への参加の意向については、半数近くの方がわからないと回答した。

問 15 あなたは、スポーツに関するボランティアをするためには、どのようなことが重要だと思いますか。【複数回答】 (n=921)

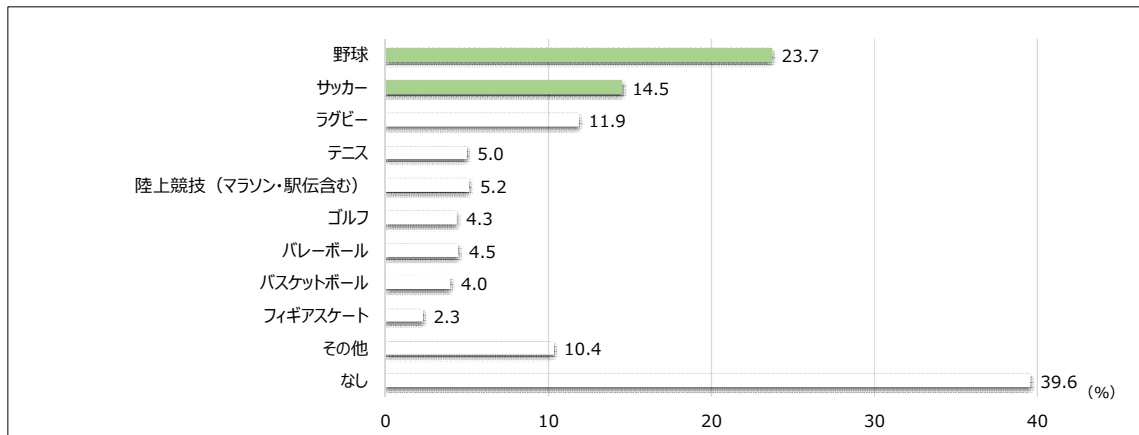


■ スポーツに関するボランティアをするためには、気軽に参加できる機会の充実、自由に使える時間の確保を挙げる方が多かった。

(6) スポーツ観戦について

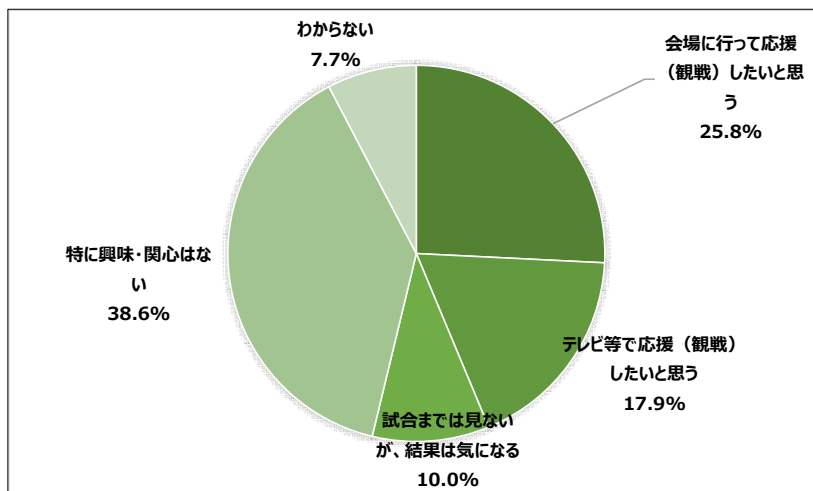
問 16 あなたが、この1年間に会場で観戦したスポーツはありますか。【複数回答】

(n=599)



■ 6割程度の方が、この1年間に会場でスポーツ観戦をしていた。種目としては野球やサッカーが多かった。

問 17 狛江市では現在、「読売ジャイアンツ」、「FC 東京」というプロスポーツチームと協定を結んでいます。あなたはこうした狛江市と協定を結んでいるスポーツチームを応援したいと思いますか。【単回答】 (n=926)



■ 半数以上の方が、少なくとも結果を気にしていた。

問 18 協定を結んでいる「読売ジャイアンツ」、「FC 東京」といったプロスポーツチームと市で行ってほしいことをご記入ください。【自由記載】

■子ども向けの交流イベント、市内のイベント参加、観戦チケットの配布を挙げる方が多かった。

- 川崎フロンターレのファンなので「FC 東京」との試合を観戦したい
- 選手との交流イベント
- 子どものふれあいの場を増やす
- 子ども達、若者たちとの交流
- 選手との交流を年に1度ではなく2回ほど開催してほしい。小学校や中学校などに行っていたらけると有難いと思います。
- イベントの企画
- 市民へのチケットの提供
- 子どもたちとプロ選手の交流
- 小中学校に来て子どもたちと野球教室とサッカー教室
- 選手との交流
- 選手との交流会
- 子どもとの交流イベント、スポーツ教室などが希望です。
- 子ども達との交流を深めるイベントの開催を増やしてほしい
- 有名選手などの学校訪問や市民まつりなどへの参加
- キャンプ
- 私は阪神ファンだ
- 公立の小中学校に選手が来校して子どもたちとふれあってほしい
- 何か触れ合う機会を使ってほしい
- 選手との交流（ミニゲーム）
- スポーツ体験会、練習試合への観戦会
- 観戦チケットの優待
- 野球教室、サッカー教室
- 子どもたちとの交流
- 選手による講義（講演会）とサイン会（握手会）
- 協定を結んでいることを知りませんでした。また何か特別のプロモーションはあるのですか
- 市民参加の交流会
- 子どもとの交流
- 市内小学校で行っている野球チーム、サッカーチームへ来ていただき指導等を行ってもらう。一緒に好きなスポーツが出来るだけで子どもたちは嬉しいです。市内でのお祭等イベントに参加していただいて市民と接する機会が増えれば嬉しいです。

- 野球教室
- 狛江市の税金を「災害避難施設や場所の購入」に使ってください。スポーツ娯楽はその後です。
- 子ども教室
- 記念写真など撮影会
- サイン会
- 狛江市の住民限定で市のスポーツ施設を利用してイベントを聞いてほしい
- 市民参加できるイベント
- 交流会
- ファン交流
- 子どもたちにスポーツの楽しさを教えてもらうこと、子どもたちと一緒にスポーツを行うこと
- 子ども向けのイベント
- 選手・コーチ等の交流の場
- 2つのチームによるスポーツ教室や講演など
- 子ども達へのスポーツ教室やプロアマ対抗試合などの開催
- 応援しております、親善試合から歩け歩けに共に参加していただく
- もっと違うチームやスポーツ（ラグビー）と協定を結んでほしい。狛江市でラグビーチーム作りませんでしたっけ
- 友人に読売ジャイアンツファンの方がいるのだが市外なので一緒にイベントに参加できないのが残念。
- FC 東京の子どもサッカー教室等
- 他のチームを応援している
- 協定先がなぜそのチームかわかるようにしてほしい
- チームについてくわしくは知りませんでしたが応援はしたいと感じる
- 子どもたちとのふれあい、指導等希望します。
- 学校への出前授業、イースタンリーグ狛江市民デー継続実施
- スポーツは素晴らしいです。汗を流して互いの気持ちの交流をして戦いあう。応援も昔のスポーツ精神を基に発散できる絆ができればよし、経済面でも無理のない支出であればよいのではないのでしょうか
- 交流の機会を作ってほしい
- 選手と市民が直接関われる機会があること。講演会など
- F C 東京の味スタの試合は時々観戦に言っているが、年に一度くらい味スタで交流があると良いかな。
- 観戦チケット手軽に入手できる方法
- 市民優先でチケットを販売、試合をもっと宣伝

- セカンドキャリア支援や引退後に狛江に住んでもらえるような取組等。後進世代等に向けての取組もそうだが、選手たち自身が狛江でスポーツその他に関わり続けられるような仕組み作りがあると発信力・影響力を生かしたスポーツ政策にも繋げやすいのではないかと思う
- 市の方でジャイアンツの選手や FC 東京の選手をよんで実践教室などをしてもらいたい
- 学校・幼稚園・保育園など教育機関との交流。駅前広場など市民が気軽に参加できる場所、内容のイベント
- 招待券などの配布をもらいたい
- 優勝パレード
- 観戦時の特典付与（景品、イベント参加可能など）
- 小中学生のサッカー・野球観戦（無料招待）や講習
- 狛江市に身近なスポーツチームの育成協定を結んで欲しい。読売・FC 東京には興味が持てない
- ファン（狛江市民）とのふれあいの機会→お祭りへの参加。ファン感謝デーなど
- 運動会等のスポーツ参加
- サッカーの方は応援したいが野球は他チームを応援しているので無理なので他チームの方がいいので
- 幼児だけでなく、乳幼児など0歳や1歳など向けの教室というか遊び場。子ども教室。プロスポーツチーム主催の健康イベント。いろいろな運動に触れ合えるイベント（スポーツ・ヨガ・ピラティス・エアロなど）
- 提携していること自体知りませんでした。提携することで市民に何のメリットがあるのか知りたい。せめて選手には提携していることを知ってほしい。
- 協定を結んでいることを知らなかったので、周知を徹底して望ましい協定を結んでいることで何か得点があるのか理解できるようにして欲しい
- 児童・学生へのスポーツ指導等の交流
- 子どもたちとの交流
- 狛江のみんなにどんなスポーツでもいいので声をかけて教えて欲しい。そうしたらみんなと知り合いになれてうれしいです。
- 選手に来てもらいたい
- 身近に選手が試合をしたり、見る機会があれば少しは興味が湧くかもしれない
- 前に住んでいた川崎では市の小学生と川崎フロンターレとの交流会があり参加したこともあり、とてもいい経験だったので子どもたちとプロチームの交流が良いと思う
- 子どもとのふれあい
- 名前は知っているが具体的にどのような協定を結んでいるか知らない。答えようが無い
- 観戦機会の拡充
- スポーツ教室等の交流会の場があると市民の参加率が上がると思う
- 子どもたちとの交流会。スポーツ教室

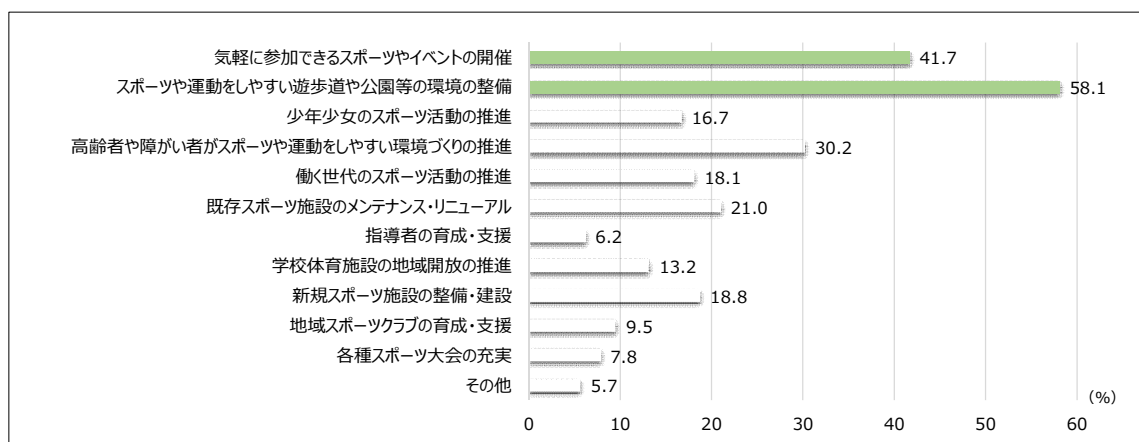
- 選手に直で会える機会の提供
- 協定を結んでいることを知らなかったのもっと市民に知ってもらえるようなイベントなどを開催して欲しい
- 協定を結んでいることにより市民が興味持てるイベントを開催していただけると観戦したいと思えるのではないかと
- 野球は好きなのでチケットのプレゼントキャンペーンなどがあればいい
- 少年チーム及び小中学校との交流事業があれば子どもたちは記憶に残ると思う
- 選手との交流や観戦場の作成
- 選手との交流会
- 学校や子どもの集まる場所で選手と身近に触れ合える体験会、イベントをたくさんやって欲しい
- 学校教育との絡み
- 子ども絡みのイベント。やはり競技人口増がどのスポーツも大切だと思う
- 交流会
- 公式試合への招待。子どもたちとの交流
- 狛江にきてイベントして欲しい
- 市民が気軽に観戦できる、或いは市民グラウンドでのイベントに気軽に参加できる体制も築いてもらいたい。感謝の集いのイベントも開催してもらいたい。
- スポーツ教室、市民デー（観戦し易い料金など）
- ジャイアンツ戦のチケットプレゼント企画
- 交流の機会を作って欲しい。何をやっているのかわからない。
- 協定を結んでいること知らなかった。もっと周知してはいかがでしょう
- 選手との交流
- 子どもからのお年寄りまで楽しめるイベントがあると良い
- 協定を結んでいることは知らなかった。もっとアピールし試合にいけるよう工夫して欲しい
- ソーシャルディスタンスが続く限り直接の交流は無理だと思うので、子どもたちの野球とサッカーチームに子どもたちが喜ぶことをする
- 読売ジャイアンツはテレビ等で観戦応援にしているが、狛江市として協定を結んでいることは知りませんでした。認知度が広まるようなキャンペーンの取組があればよい
- 子どもが参加する教室
- 選手との交流の場を作って欲しい
- 子どもたちとの交流
- 選手との交流を増やす
- 市内でのイベント。協定を結んでいることさえ興味も無く知らなかった。もっとアピールが必要
- 気軽に観戦できるようになったら良いと思う
- 子育て世代のため子どもたちへのスポーツ指導などがあると嬉しい

- 子どもとのふれあいの会
- 子どもたちとの交流
- チケット割引
- 野球児やサッカーを学んでいる子どもたちと選手たちとのふれあい小中高の子どもたちの励みになると思います。プロ選手の学校訪問もよいと思います。
- プロ選手の指導や交流試合
- 交流会などを行ってプロスポーツ選手の話聞いてみたい。
- 優勝パレード
- 市民には他球団のファンも大勢います。特定の球団に公費や時間を使うのは公平性を欠くのではないのでしょうか。
- 選手と交流したり技術を教えてもらったり見せてもらえるスポーツイベント
- 体力づくりなどのストレッチ、体操などのイベント
- チケットの優先販売
- 協定を結んでいることを市として市民にもっとアピールすべき。プロスポーツチームの選手を呼んで子どもたちとふれあわせるとか。市民と共にチーム応援できるように工夫すればよいのに。折角の協定がもったいない
- 大人限定のスポーツ指導
- 協定の内容と協定の結果として行われることの広報活動
- プロ選手の野球、サッカー教室。子どもたちが喜ぶことであれば何でもやってほしい（観戦チケット、グッズのプレゼントなど）
- 抽選で入場券の配布、選手との交流の場
- 練習試合を見れる機会、子どもへのスポーツ体験をプロを交えて行くと子どもたちの夢も広がりそうです。
- 年に1回でも選手と対話したいと思います。
- 観戦優待制度
- 読売ジャイアンツの試合観戦に出かける
- 試合の観戦チケットが欲しい
- 子ども向けのイベント
- 運動会・食事会
- 交流の場が欲しい。プロに指導してもらえるとよい。自分にも子どもたちにも素晴らしい機会となる
- スポーツ教室の開催
- 狛江市内で試合（そんな施設内ですが）
- 市民全体へのアピール。市広報にもっと記事を書く
- 交流会、子ども向け指導

- 選手との交流。観戦チケットの割引
- 選手との交流
- 練習トレーニングを市内で。見学を自由に。（プロの選手を身近に感じることで子どものスポーツ向上、大人も楽しめる）講演会（専門家による心身の鍛え方）
- サッカーは一度グラウンドでみてみたい

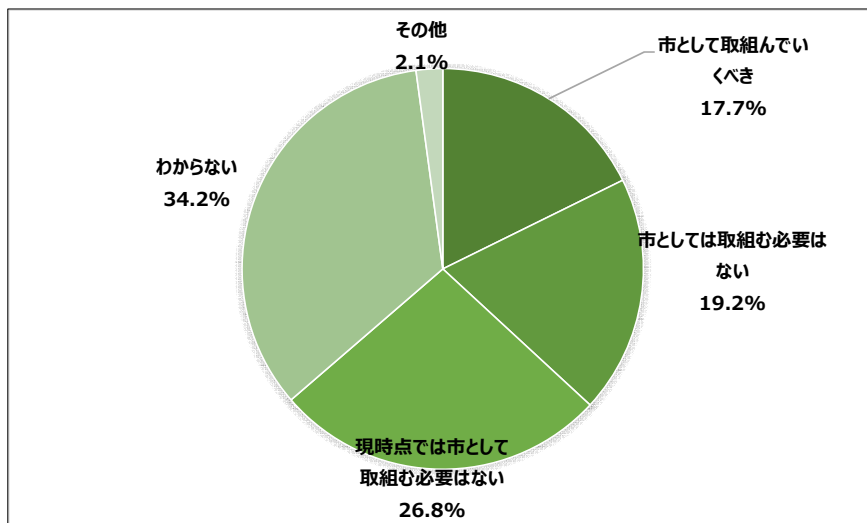
(7) 狛江市のスポーツに関する取組について

問 19. 市民のスポーツ活動を推進するために狛江市が取組んだ方がよいことは何ですか。【複数回答】(n=933)



■今後市民のスポーツ活動を推進するために狛江市が取組んだ方がよいこととしては、スポーツや運動をしやすい遊歩道や公園等の環境の整備や気軽に参加できるスポーツやイベントの開催を挙げる方が多かった。

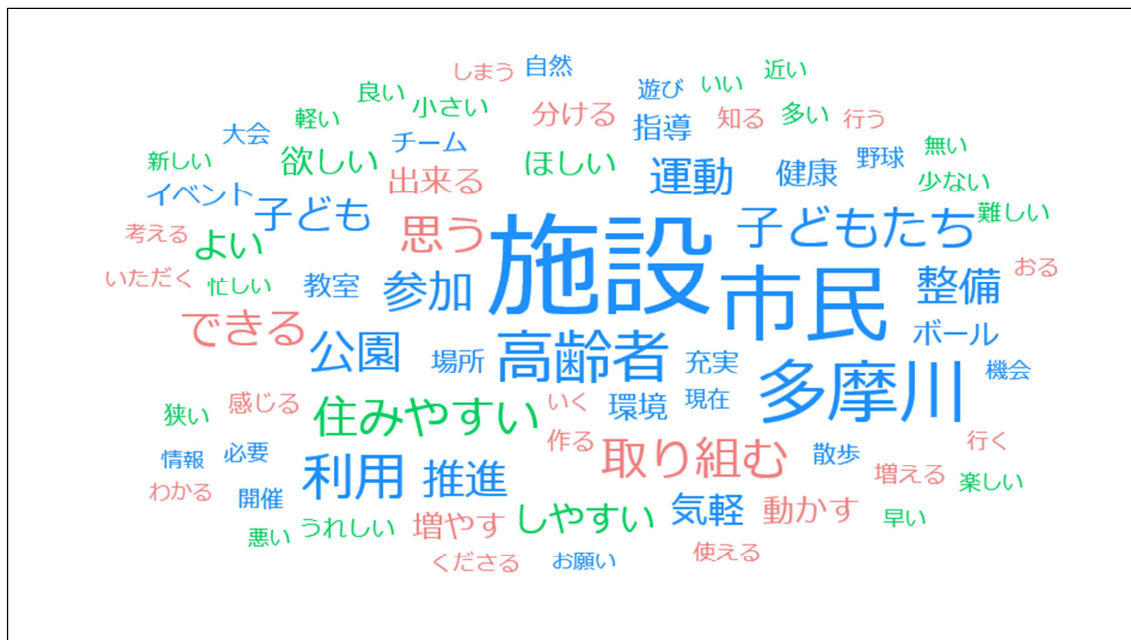
問 20. eスポーツについて【単回答】（n=938）



- eスポーツについてはわからないと回答する方が最も多く、その次に現時点では市として取組む必要はないと回答する人が多かった。市として取組んでいくべきと回答した方は17.7%であった。

問 21. 最後に、狛江市のスポーツに関する取組について【自由記載】

- 施設の整備や情報提供に関する意見が多かった。また、多摩川を活用してなにかをやってほしいという意見も多かった。なお、自由記載でいただいた意見をテキストマイニング（ユーザーローカルテキストマイニングツール）分析した結果は次のとおりである。



- 小さい子どもと一緒に毎日遊びに行きたくなるような緑豊かな公園が市内により増えるとうれしいです。現時点では世田谷区の公園に行くことが多いです。
- 狭い面積の市とはいえ緑や自然に恵まれた環境を活かし、地元の人が自由にその環境を享受できる状況を工夫してほしい。（使用条件や禁止事項が多すぎて自然を自然として楽しめない）
- 狛江市の公園は小さいというのはわかりますが、公園などでボールを使ってはいけない公園が増えているため気軽に使える場所がほしいです。手続きなど鍵をとりに行くことが大変なので子どもが、サッカーや野球などができる環境がほしいです。
- 情報がなくてないので、何を現在行っているのかまったくわからない。
- 今回のアンケートで施設のあったことなど知りましたので定期的なアンケートをしてほしい。
- 野球をしていたのでボールを使用できる公園などの無料の施設が増えてくと運動不足やストレス発散になってとても嬉しい。
- 多摩川や自然あふれる地域ならではのスポーツを見つけて取組んでみては？サイクリングロードのある自転車とかいい。犬の散歩でよく二子玉川に行きますが、平日無料パーキング、芝生の生えたグラウンド、民間の方がやっているコーヒー店等、とてもうらやましいです。
- スポーツに参加したい気持ちはありますが、日中は仕事、夕方以降は育児で現時点では難しい状況です。夕方以降子どもと参加しやすい教室などがあれば助かります。
- ダンス（ストリート）を指導してくれる講習を増やしてほしい。
- 例年参加率（市民の）低いスポーツボランティア・イベントなどはやめてもよいと思います。小さい子どもが気軽に参加できるイベントを増やしたほうが子どもと親のストレスが減ってよいと思います。
- 市の施設でどのようなスポーツが出来るのか全く知らないのでもチラシなどの郵送やポスターなどがあれば知る機会が出来て利用するかもしれないです。
- 多摩川を利用してサマースポーツ（カヌー等）アウトドア・キャンプなど、取り締まるだけではなく進んで推進していくべきだと思います。
- 家族で散歩や身体を動かすときには現在野川のあたり（ふれあい広場）に行っています。狛江市では西河原自然公園まで行けばよいのですが、少し遠いので駅付近にもう少し場所があればよいなと思っています。夏場、木陰で少し遊べるような所がほしいです。メビウス広場ももう少し木陰があればよいです。
- 夜でも安心してウォーキング出来るコースを作ってほしい。校庭の開放とか（街灯がなく暗い場所も多いので）1つコースを作って市民にすすめれば人が増えて安心・安全なのでは。
- 以前住んでいたところは砧の総合体育館が近く室内プールを利用していました。狛江市にもあればいいなと思います。
- 運動・スポーツが苦手な人は基本的な体の動かし方が下手な人だと思う。（柔軟性がないなども含め）スポーツをはじめたくなる体の使い方を教えてくれるイベントなどあるとよい
- スポーツに関する市の取組を知らなかったのでも今回調べてみようと思いました。

- 私は最近狛江市に引っ越してきましたが、以前から多摩川サイクリングロードの「狛江ダート」は不便に感じており、狛江市に悪いイメージを持っていました。これは市民になった今でも変わりません。ダートを舗装しない理由を以前調べましたが周辺との協調を考えない「ひとりよがり」なものでがっかりしました。狛江市民になる前はサイクリングロード整備のふるさと納税を始めてほしいと思っていましたが、市民になった今ではそれもできず本当に残念です。狛江市にはサイクリングロード整備以外のスポーツ政策を期待しないのでこの労力を病児体育環境の充実に充ててほしいです。
- 転入してきて1年ですが、目に入ってくる情報が少ないように感じます。（意識していなかったことも理由かと思いますが）意識して探しに行かなくても自然に目に入ってくる情報発信を工夫されてはいかがでしょうか。
- 今は学校の部活が忙しく、時間がないので市のスポーツに関われる時間があまりないのですが、今後時間ができれば関わっていければと思っています。大会などが出来る大きな施設が出来、市民が気軽に忙しい時間のあいまにスポーツ観戦が出来るようになれば、色々なスポーツに興味を持つ人が増えるのではないかと思います。地区対抗リレーまたやってほしいです。
- 市民（子どもから大人まで）が気軽に参加できる運動会的なイベントがあってもよいのではないかと思います。種目別で事前申込抽選であれば参加しやすくなるのではないかと。特定の競技だと人によっては経験していないと参加しにくいですが、運動会なら多くの人が参加したことがあるのであまり抵抗がないと思う。
- 市として現在何をしているのかわかりません。市民プールを60歳以上を無料にしてください。
- 小さな市なのでいくつもの施設建設やインストラクター増員は難しいと思うので例えば施設利用日（時間）について年齢や性別で分けたり特に「施設を初めて利用する人」という時間を作っていただきたい。利用方法もよくわからない中で現状未利用者1人では通いなれている人の輪の中に入る勇気や暗黙のルールになじむことは難しく施設利用をしてみたい気持ちはあっても今一步踏み込まずこのままの人が多と思うので。
- 遊歩道の散策、市民農園の利用、食生活配慮等健康には注意している生活ですが、最近体感の衰えを感じて家にある健康器具を利用しています。
- 自分が積極的にスポーツを行っていないのでわかりませんが、家の周辺を見る限りとてもスポーツしやすい環境が整っていると思います。しかし子育て中はなかなか施設は使いにくいです。未就園の子どもと一緒に参加できる機会があると嬉しいです。
- 高齢（90歳）の祖母が近くに運動や散歩が出来る場所が少ない。あってもそこ（公園等）に向かう道がきれいに舗装されておらず、危なくて怖いと話していました。スポーツをする場を整えるのも必要ですが、周辺の環境を整えることも同時に考えていただきたいです。
- 高齢者向けの健康体操教室を安価で提供してほしい。
- 多摩川河川敷のグラウンドを早く復旧してほしい。少年野球、狛江市野球大会がなくなってしまうのはよくない。世田谷、調布はできているのに狛江市はそのままになっているので場所がなく練習も大会もできず
- 施設の利用方法や設置場所等の案内・広報をお願いします。

- マラソン大会に参加経験あり、荷物預かりがないのにびっくりした。
- 未来をつくる子どもたちのためにも、どうか頑張ってください。
- 働く世代が運動できるように、この世代は運動不足を感じるが中々時間がとれないことが多いと思うので夜の遅めの時間にスポーツ教室の開催などまた料金自体もリーズナブルであったり、親が隣でやっていたら子どもも隣で子ども同士で同じスポーツができたりしたら家庭でも話しの種になると思う。
- 狛江スタジアム（野球場）でも作ってみては
- 施設の充実
- 平日の過ごし方が替わる機運のある今社会人にもスポーツが出来る環境を整えた市になってほしい。
- 世田谷、調布、川崎に囲まれてなかなか目立たない狛江市ですが、スポーツ振興等を通して内外に市の良さを積極的にアピールして、今以上に「住みやすい・住んでみたい」と思う狛江市にしてほしいです。
- 地域の人たちと交流が深まるようなイベントや大会の実施
- 今は何も不満はございません。
- 多摩川の整備（水辺の楽校付近を特に）
- ボッチャなど健常者と障がい者を分けずに一緒に行ってみたらどうか。他のスポーツも健常者と障がい者と分けずに一緒に行ってみたらどうか。同じフィールドで行えるものはできると思う。スポーツは勝敗だけではないと思うので。
- コロナの状況下においてスポーツ観戦やイベントの推進といった従来の取組としてもあまり効果がないと感じるが e スポーツは今からとてもトレンドになっている。例えば市民でスポーツをネットで配信して自宅でそれを見てやりたい人をつなぐなど、難しいこともあるが、リモートで市民同士を繋ぐプラットフォームがあったら素敵だなと思う。それにより普段市政に関わる機会のない人も参加しやすい。
- 体に大事なスポーツのアンケートですが、現状リタイアしていても親族の介護等でスポーツコミュニケーションに参加は現状不可能に近いためご期待できる回答には程遠いかもしれません。
- 古い施設が増えているのでせっかくだから今は PCR センターなどに利用してコロナが終息したら改装とか出来るのが一番良いのでは。PCR センターを作って干しいのであえて今のうちに使うとよいなと。狛江市に PCR センターが無いのはどうなのかな？と思う。今どきすぐ出遅れていて狛江市の魅力を全く感じない。
- 新型コロナの影響を意識した対策や運営が必要。わざわざ新しい大規模施設を作る必要はない。
- 子どもが狛江市少年野球で大変貴重な時間を親子共々過ごしました。また中学では東京駅伝にも出場させて頂き小さな町にしながらスポーツの大切さと仲間と共有できる機会を沢山設けてくださっていることに大変感謝しております。今の幼・小・中・高生にこれからも思いっきり体を動かせる場の環境整備を切に願っております。建物ばかりでボールも使えないバットも使えない場所ばかりでかわいそうに思っています。

- 現在 84 歳の高齢者ですが、日常の健康ボケ防止のためには適度なスポーツ観戦及び自分で運動して楽しむ両方ともに不可欠と考えております。狛江市をスポーツを充実させて心身ともに住みやすい街づくりをお願いします。
- 施設が世田谷区等と比較して見劣りしてしまうのはやむを得ないので、ソフトで盛上げてください。スポーツの目的に健康以外を含むのは個人的には若干違和感があるのでコンセンサスを得ながら進めてください。
- 私はスポーツにあまり関心がなく、東京に越してきたばかりで右も左もあまり分かりませんが、スポーツを通してまちが活気付くのはとてもよいことだと思います。個人的にはオンラインでのスポーツ？運動がしたいです（ヨガなど）
- 最近世界的にもゲームや漫画に夢中になり現実と非現実の境を失い脳が犯されて痛みを失い、傲慢つまり画面の主人公になっている気分になってしまっている。昔は学校教育でホームルームで意見交換で交流が出来る時間があるにもかかわらず人間としてスポーツを通して脳の洗浄と活性化を先導できる遊びがあるとよいと思っています。
- スポーツ施設マップがあると参加してみようかという意欲がわく
- 市内に温水プールを作る必要はない。維持費がかかるので他区、他市と連携してプールをシルバー料金で利用できるように切に希望します。
- 申し訳ありませんが、狛江市のスポーツ関連についてあまりよく知りません。普段仕事で忙しいので「こんなイベントをします」というお知らせを広報等で知らせてくれると興味を持つと思います。
- 気軽に参加できるイベントがあるといいと思います。高齢者でも楽しく体を動かせる集い
- テニスコートの増強。室内プールを作る。
- 高齢者が日常できる体操の指導を週 2 回ほどでも行って欲しい。
- 狛江市出身や狛江との関係のあるスポーツ選手へのインタビューや講演会などスポーツを身近なものとなるようなイベントをたくさん実施すればいいと思う。また、中高生など部活動でスポーツをしている人たちのインタビューなども見てみたい。頑張っている人たちを見ると励みになる。コロナウイルスの件でイベント実施など難しいと思います。早く収束するといいですね。
- スポーツ政策としてどこへ向かいたいのか軸とゴールを明確にすべきかと思います。（e スポーツは少し例外として）トップスポーツのサポートなのか育成年代の競技力向上なのか、障害者スポーツなのか、そういう軸があればそこから始まる「する・みる・ささえる」の循環を大きくすることで、市民のスポーツ参加やスポーツを通しての健康づくりというのは自然に今よりも少しずつ広がっていくのではないのでしょうか。スポーツを職とする身として、これからもずっと狛江でスポーツを続けられるよう応援しております。
- 手足、体を具体的に動かすを重点にする。時間短くていいが日ごとや 2 日 3 日に行うことの大切さがあると思う
- スポーツ施設が北側に偏っている気がする。南側にも欲しい。公園が少なすぎる。ある程度の広さ、遊具のある公園の整備を市として進めて欲しい（小さな児童遊園ではなく）
- 狛江市として、自慢できるような優秀なスポーツ育成に取り組んでいただきたいと存じます

- 狛江市内一周マラソン大会（日本で二番目に小さい市をアピール）
- 気軽に参加できるイベントの開催や施設のより一層の充実（新しい器具の導入やメンテナンス等）をお願いします
- 気軽に散歩や軽い運動が誰でも出来る場。多摩川の河川敷の整備を早々にお願いいたします
- 少年少女のラグビーチーム作り
- 取組がどこまで知られているかが不明なところであると思うので、もっと感心を持てる方向を考えて欲しい
- 多摩川の河原が荒れればなしで残念です。河原の更なる有効活用を期待します。施設やイベントに関しては近隣の調布市・世田谷区・川崎市などと提携、連携できないものでしょうか。例えばスポーツの大会をやるにしても狛江のみでは参加者・参加チームが少なすぎるのでは。
- 狛江のスポーツ施設は規模が小さく点在しているので、大きな施設を増設しては。
- 健康に過ごせる町であるために、幼児から高齢者、障がい者それぞれが体力に合わせて運動できる安全な環境はあってほしい。
- 市民体育館の開放日を増やして欲しいです。中高生が野球やサッカーを出来る機会や場所を充実させて欲しい。市民グラウンドも団体予約が必要です。子どもたちにスポーツを推進させるためにはまず場所の提供が重要です。弟をはじめスポーツを頑張りたい子どもたちが安心してのびのびと利用できる場の提供をお願いします。
- ボルダリング施設が欲しいです
- 狛江の皆さんが同じ場所で一緒にスポーツが出来たら、皆さんと話も出来るのでとても良いと思います
- 音楽の街としてもっと力を入れて行って欲しい
- 高齢者でも簡単に情報を得られるようにして欲しい
- 70歳超えるまでは10年間フィットネスに通ってました。現在は80歳を過ぎスポーツは無理になりました。カーブスでは30分なので筋力をつけたい
- 施設を増やして欲しい
- 公共のジムを増やして欲しい。昔少し利用したことがありますが込み合っていたように思います
- 狛江市立スポーツ施設についてリアルタイムで混雑率が分かると良いと思う。スマホアプリやホームページ上での表示等。
- eスポーツ産業は拡大していてこれからも発展すると思うので少なからず目を向けても良いと思う
- 誰でも気楽に入れる施設にして欲しい。学生も使用しやすい価格にして欲しい。ボルダリングの出来る施設があったら良いと思う
- ラジオ体操などの気軽に参加できるものがあればよい。やっつけても知れ渡っていないように思う
- 狛江市のスポーツの取組を何をやっているのかわかりませんでした。これを期に初心者でも始められるイベントが増えるとうれしいです。
- 市民グラウンドの自由解放があったらうれしい
- アンケートで意見を集めるのは良いと思います。頑張ってください。
- 初心者でも参加でき気軽に楽しめる大人向けのバレーボール教室とハンドボール教室が欲しい。

- スカッシュをやってみたいのですが施設が都心にしかありません。マイナースポーツを出来るところが一箇所でもあると思う。マイナーな市にマイナーなスポーツを。ニッチにいきましょう。逆に目立ちます。
- 市営の乗馬クラブを作って欲しい。長野市のりんごクラブの事例が参考になるかと思います
- 地元の学校の生徒さんの大会の結果など。通りすがりに見るが広報誌やHPにもよると、知るきっかけや載った子は励みになるのではと思いました
- 町会の理事をしていた関係で市の行事には関心がありますが、卓球・バスケット・マラソン等、市民一体で年間を通して行ったほうが良いと思う
- 市役所ゴールで何かもらえるようにしてジョギングやウォーキングを推進する。もらえるものはジュース1本でも良いと思います。ポイントをためるというものでも良い。ジョギング、ウォーキング途中で特産品がちょっとだけ味わえるとかにしてゴールまでの課題を決めると楽しいかと思います
- 市民全員が気軽に参加できるイベントの開催。今後増加する高齢者は歩くだけでも健康増進・ボケ防止につながるので「歩く会」の設立も一案である。行事はしない史跡めぐりなど何でもよい。子どもたちの体力低下も気になる。外遊びをしない、させない。学習塾優先の親たちなどに要因は多くあるが子どもへの強制参加で運動する機会をあたえなければ大変なことになると危惧している。
- スポーツにルールは必要だとは思いますが細かいルールを競技内容以外で大人が子どもに厳しく指導しすぎ。遊びの延長で楽しく体を動かすことは子どもには必要。大人は好きなようにやればよいでしょう。市が取り組むなら子どもたちのことを考えて取り組んでください。
- 昔のように学校のグラウンドを自由に使えるようになると良い
- 各スポーツの初心者向けコースを作って欲しい
- 子どもが思い切り走り回ったりボール投げをする場所をもっと沢山確保してください。そうでないと、身体能力が付きません。空き地をもっと欲しい。マンションではなく。
- 狛江駅にスポーツジムがあると仕事帰りに寄れるので有難い
- 狭い市だということを実感して「なんでもやる」を改めるべき
- 小さくても良いので運動公園（健康遊具があるとなお一層よい）のようなものがあるとシニアのほうも利用できて健康推進につながると思う
- 喜多見ふれあい広場が近いので散歩します。狛江市も大きな公園があると良いと思います（難しいですよね）
- 何をしているのか全く分からない。もっとアピールして盛り上げてもらいたい
- 以前市のビーチボールチームに所属したことがあるが練習に出席できない日が多いためチームとしての希望と自分の気持ちの間で温度差があり参加しづらくなり退団してしまった。もっと気楽に参加できるチームを探せばいいのだが、ここのチームから受けた重圧がトラウマになってしまい気持ちが萎えてしまった。チームの一覧を作って欲しい。
- ボール遊びできる公園を増やして欲しい。市民体育館を増設したほうが良い
- 多摩川でヨガ（誰でも参加できる）のイベントを開催して欲しい

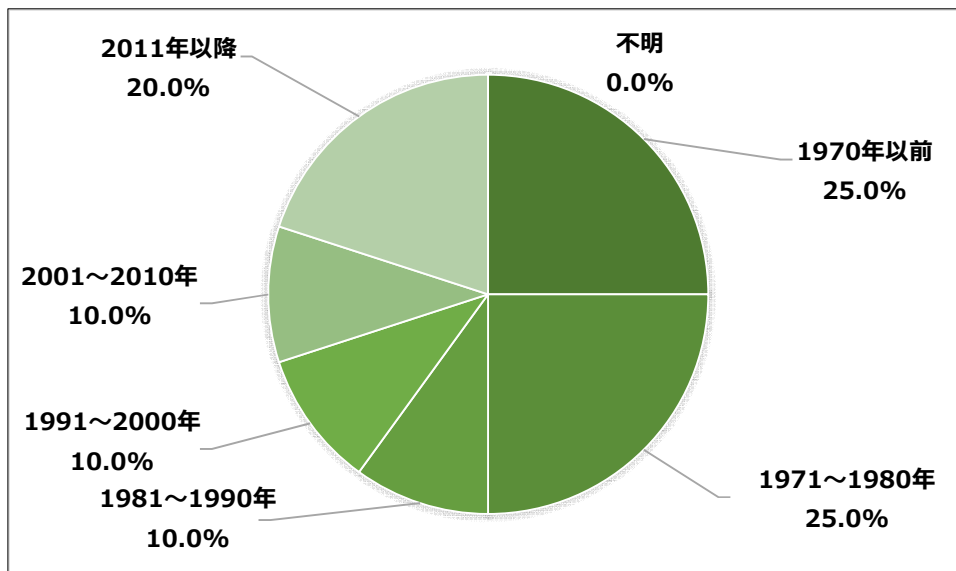
- 退勤時にウォーキングを兼ねて多摩川水道道路から西河原公園までの川沿いの道をよく利用している。道が舗装され歩きやすくなり大変助かっている。歩行者用と自転車用で道を上下に分けていることを示す掲示板や柵の設置もされ、歩行者の人はまず100%上の道を利用しているが、自転車利用の方でもかなりの人数が歩行者用の道を利用している。頻繁に利用する夕方から夜間は特に無灯火で走行している方も多く、時に危険を感じる時もある。この道の利用に関して今以上に歩行者・自転車利用の棲み分けを明確にして欲しい
- 野球やサッカーに代表されてしまい、市の施設もそれに準じたものになっていると思う。ランニングや筋トレが出来る施設があってもよいと思う
- 施設の拡張が困難であれば学校施設の活用を検討して欲しい
- 市役所の職員の感じが悪い。横柄に感じる。市役所の雰囲気良くない。他区市の役所や公共施設などに比べてものすごく感じが悪い。丁寧なのに感じが悪い。丁寧でも感じが悪い。
- eスポーツは特に日本での取組や試合の開催が世界と比べると劣っている。賞金などが少ない。早いうちからの参画によってビジネスチャンスにもなりうると思う。市としても取り組んで損は無いと思う
- 小学校などでプロの方を招いての講習会の話は良く聞きます。子どもたちにとって良い経験になると思うので今後も続けて欲しい。一方、市民として今まで狛江市が市民に向けた「スポーツに関する取組」に具体的に何をしていたのか知らないのが現状です
- 中央公民館や西河原公民館を利用させていただいていますが、トイレの設備が悪いです。運動する場所の設備がよい所で行いたいと思っています。お金がかかるので難しいと思いますが、将来お願いしたいと要望しております。障がいのある方のためにも見返していただきたいと思っています。
- 高齢者社会となり町行く人々がほとんど健康に不具合があると思います。
- スポーツよりも充実させてほしい施策がたくさんある。こんなおんきでとばけたことに公費を投入しないほしい
- 高齢者として自宅での体力づくりをしていますが、市報などを通して高齢者にも参加できるものをやってほしいと思います。近くて気軽に参加出来る場があれば仲間もできるし良いと思います。
- スポーツというと団体で行う競技等をイメージするが、これからは、個人が気軽に体を動かすことも大事。例えば市の総合体育館で時間に縛られず、個人がストレッチや体操等できるとよいと思う。
- 高齢者のスポーツ、気軽に参加できる場所と例えばエアロビクスや軽い運動等汗をかける位の運動の出来るようなことが出来ると助かります。狛江市は越えてきて数年でイベント等は参加したこともなく色々なことはまだわからない状態です。仕事がリタイアしたなら、色々参加できそうな場があればいいみたいと思います。
- 利用の多い遊歩道に高齢者向けの簡易な健康体力づくり施設があったらよいと思う。なお指導や補助員が月に一度程度サポートして無理のない指導や説明が補助についていただければ。希望ですが、大げさな設備はいりません。
- 球団本拠地でない狛江市が、特定の球団を応援する理由がわかりません。その事が前提となっている設問が疑問でした。市民の税金を使うのですからもう少し説明が必要ではないでしょうか。

- 幅広い年代が参加できる制度（場所・値段）があるとよいと思います。オンラインの自宅のできるコンテナの配信などがあるとよいと思います。
- 子どもが小学3年と1年のため何かスポーツをやればまた考え方が変わるかも
- もう少し設備がよいスポーツ施設があったほうがよいが、巨額の予算が必要ならいい。
- ボール遊び禁止という公園が多いので気軽にキャッチボール等できるような工事や環境があってくれればうれしいです。
- スポーツには怪我がつきもの。馬鹿な保護者のクレームにはちゃんと戦ってください。それが子どもたちのためになる。狛江市は小さな市なのでスポーツに取組むならまず税金の無駄使いを職員1人1人が本気で考えることと思います。覚悟を決めてがんばってください。本気なら応援します。セクハラ市長に退職金を払ったことを子どもたちは忘れていないでしょう。まず子どもたちのためによりしくお願いします。
- 施設が閉鎖的でスポーツに市として取組んでいる印象が少ない。もっと開放的でセンスよく気持ちのよさそうな空間、施設があるとよいのではないかと思います。
- 市民が健康であれば市は少しは経済が楽になると思います。ですからスポーツを大事にすることはよいと思います。
- 多摩川緑地公園整備造成完成を願う
- 学童のスポーツ参加促進。次世代に予算を使うべき
- 社会人のスポーツチームがもしあればどんなものがあるか知りたい。気軽にたまに参加できるものがあれば参加したい。スポーツイベントの情報をどこで知ればよいか分からない。チラシなどで知り、タイミングが合えば参加したい
- 市にスポーツチーム（サッカーでもラグビーでも何でも）ができれば応援のしがいがある
- 怪我や損害や苦情を気にしすぎの世の中になっている。自分の子ども時代と比べて、あまりにも運動する場やちょっとしたスポーツをする場が無い。本格的でなく軽いスポーツをする場が家の近隣にあるほうが良い環境といえる。つまりは場を作ることではなく規制を緩めることが必須であるとする
- 高齢者が初心者でも出来る卓球教室が近くにあったらいい。問い合わせると人数が多かったり、あるいは上手な人ばかりとか
- 屋内プールが市にあるといい
- スポーツに限らず、市全体としての一体感を出す取組をして欲しい
- もっと市でどんな施設があるのか知りたい。情報はどこで見られるのか知りたい。どうしているのか、市民が安く利用できる施設はあるのか。運動するという意識を市民一人ひとりに認識させたほうがいい。SNSを活用して行くべき
- 引越しをして間もないため、どこにどういった施設があるのかも知らない。簡単にまとめたものが駅などにあったらありがたいです。

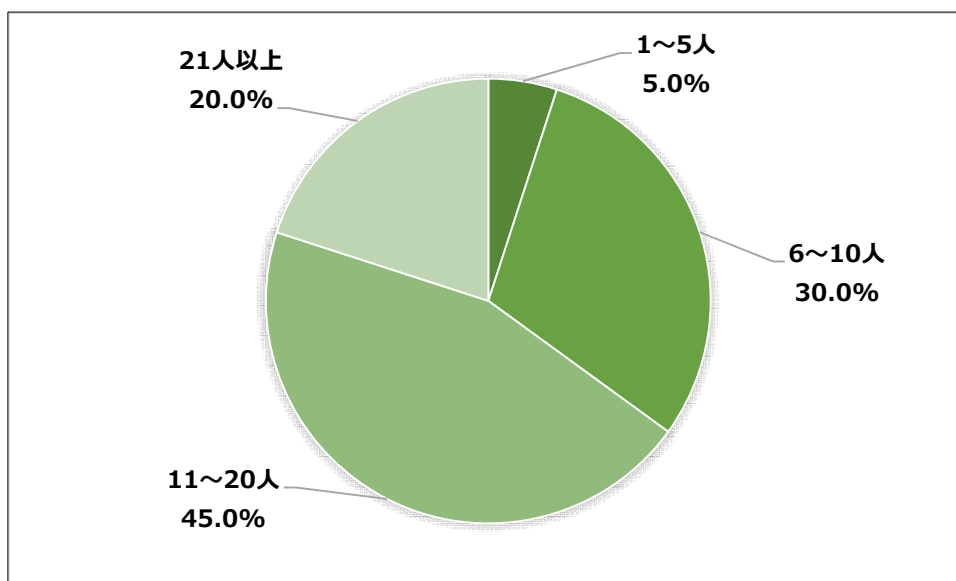
団体向けアンケート集計結果

(1) 回答団体属性

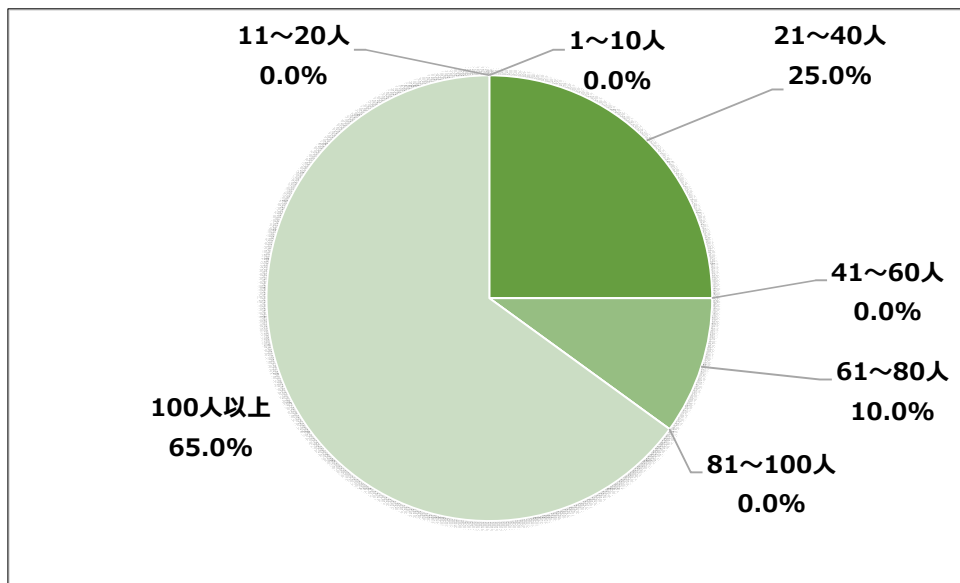
1) 設立年 (n=20)



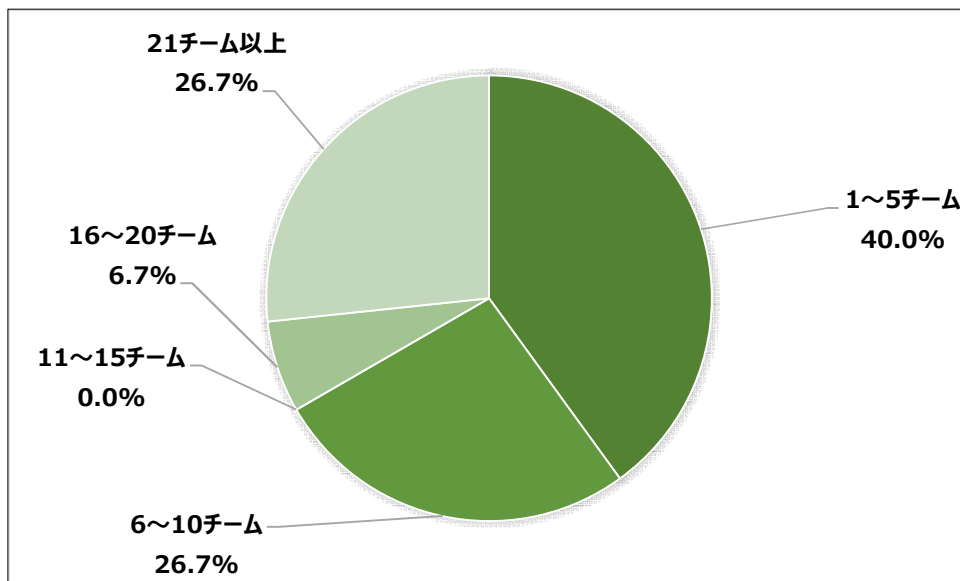
2) 役員数 (n=20)



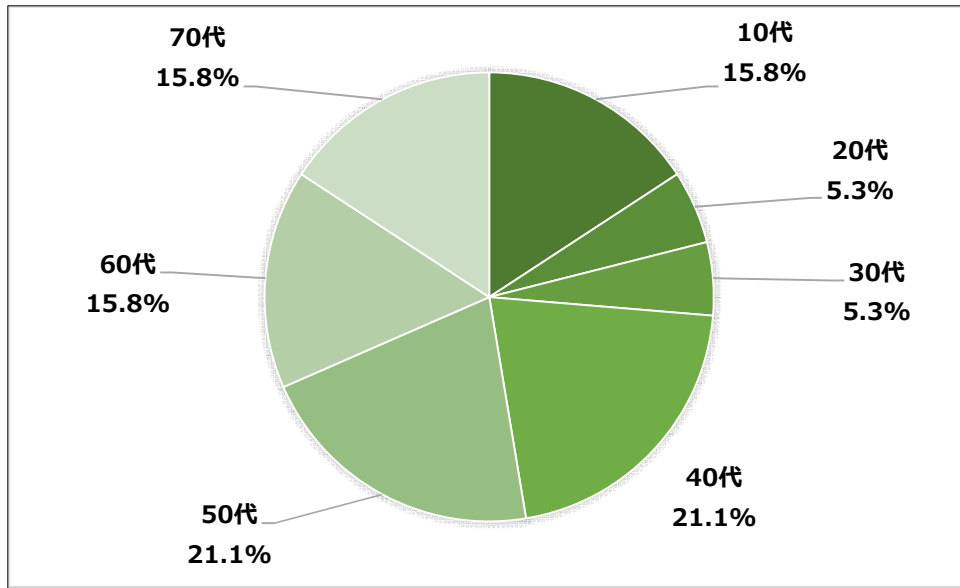
3) 登録会員数 (n=20)



4) 登録チーム数 (n=15)

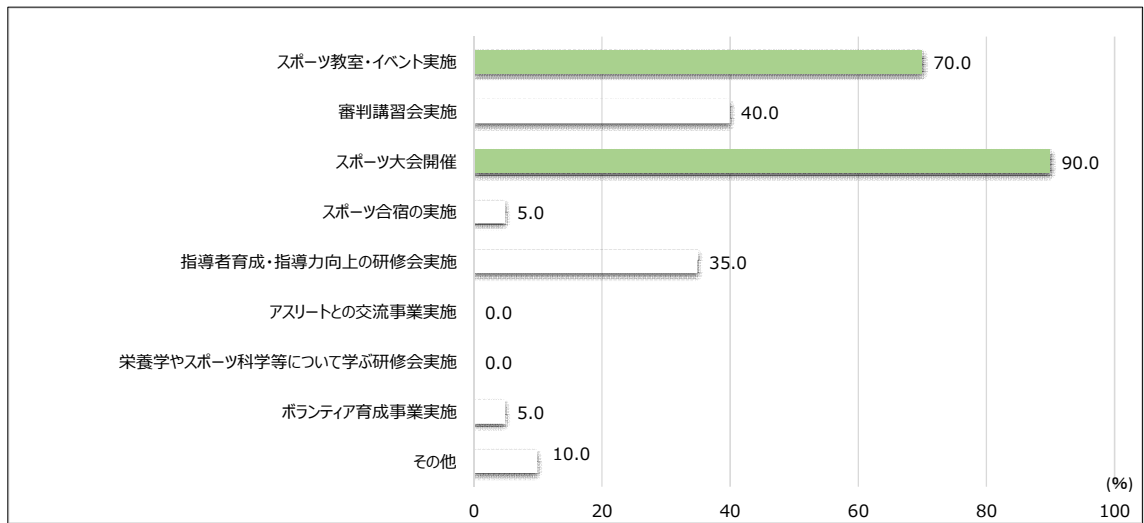


5) 登録者の平均年齢 (n=19)



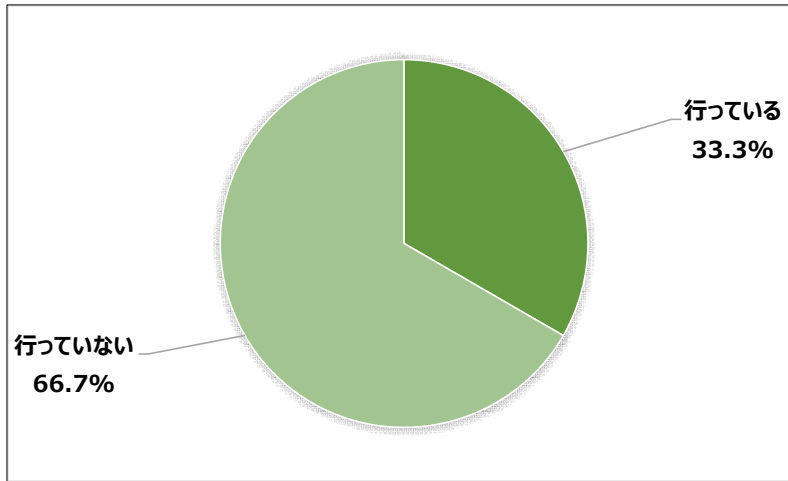
(2) 団体の活動について

問1 貴団体が行っている事業についてすべてお答えください。【複数回答】 (n=20)



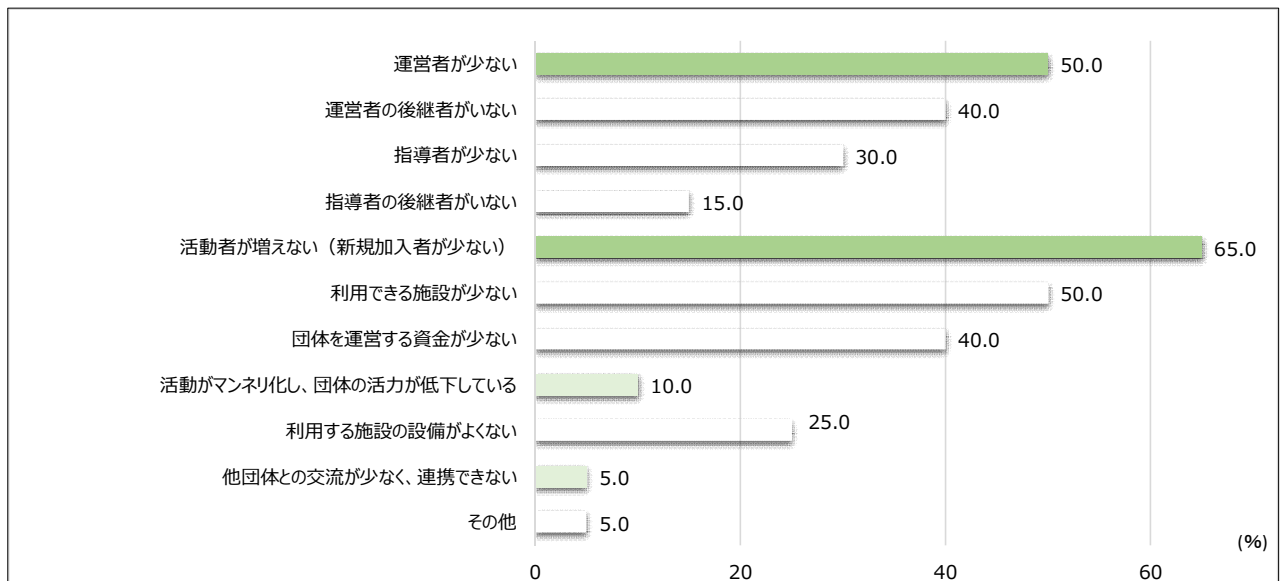
- 団体の活動として、スポーツ大会開催やスポーツ教室・イベントの実施を挙げる団体が多かった。
- その他の回答としては、外部団体主催の運営協力が挙げられた。

問2 他の団体と交流する事業やイベントを行っていますか。行っている場合は、団体名・事業やイベントの内容をご記入ください。(単回答) (n=18)



- 他の団体と交流する事業等を行っている団体は3分の1であった。
- 他の団体と交流する事業としては、市民まつり、イベントの手伝い、東京都連盟等事業への参加であった。

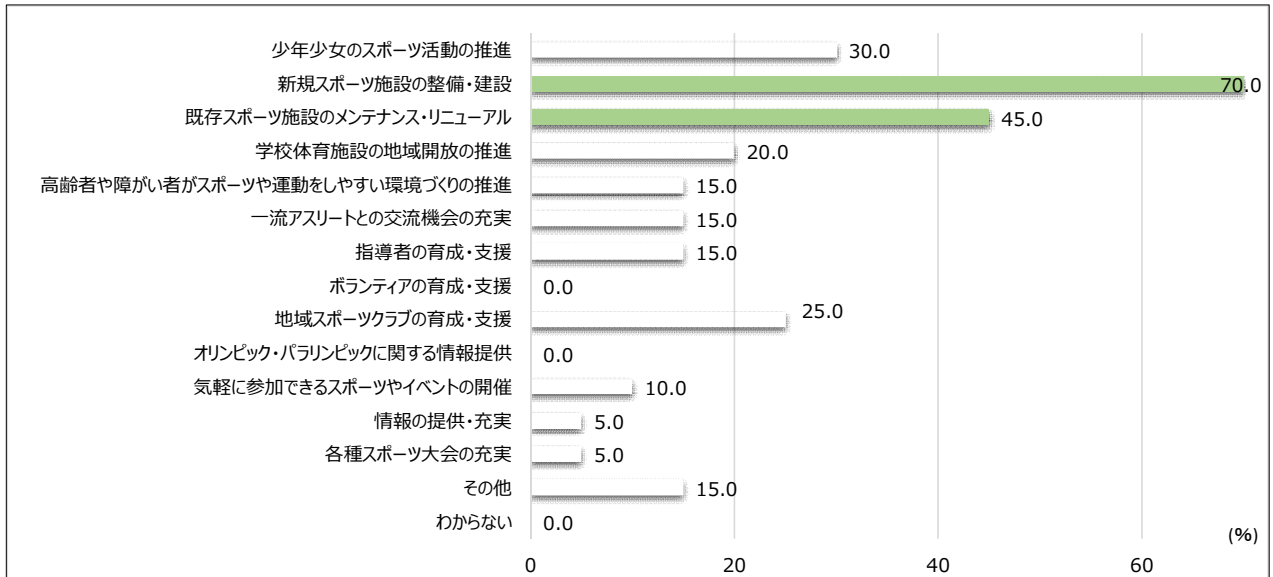
問3 運営・活動について課題となっていることは何ですか。【複数回答】 (n=20)



- 団体の課題としては、活動者が増えない(新規加入者が少ない)や運営者が少ないを挙げる団体が半数以上あった。
- 団体の課題として活動のマンネリ化や他団体と交流が少ないことを挙げる団体は少なかった。

(3) 狛江市のスポーツに関する取組について

問4 市民のスポーツや運動活動を推進するため、今後、市ではどのようなことに取り組んでいくべきだとお考えですか。【複数回答】(n=20)



- 市民のスポーツや運動活動を推進するため、市で取り組んでいくべきこととして、スポーツ施設の整備やリニューアルを挙げる団体が多かった。
- ボランティアの育成やオリンピックの情報提供を挙げる団体はいなかった。

問5 狛江市のスポーツに関する取組について、ご意見やご提案がございましたらご記入ください。

- 狛江市ではスポーツ施設の少なさを感じています。現在ある場所の有効活用を行うために、旧4小跡地の大幅な改修工事を行い、更地にして総合スポーツ施設（グラウンド、体育館、温水プール等）の建設を提案します。狛江市の土地で速やかに進められる場所はここだけだと思います。
- それぞれの各団体の活動はあるものの、横の連携イベント等がほぼ皆無なので、狛江市全体でできるスポーツイベントが定期的で開催されたらよいと思います。
- 小中学校体育館は学校関連の団体が優先して利用しているのが現状。地域スポーツ団体も利用しやすくしてほしい。
- 各団体と市の役割を連携し推進すべき、市の役割は設備、予算面での団体運営を支援し充実させるとよい。
- 施設を整備等する場合は利用団体の意見を聴いてから行ってほしい。施設の改善をお願いしても「お金がない」とのひと言で終わるのはいつも残念に思っている。
- 問4の部分1から13は全て推進していただきたいと思います。

- 施設が少なく雨天等による大会の変更が多発しています。市民グラウンドの人工芝生化により雨天後のグラウンド不良での中止や変更は激減すると考えられます。新しいグラウンドを用意していただき各スポーツ団体との棲み分けがベストですが、また海外には簡易ドームというものもあるようです。スポーツ利用するだけでなく災害時にも利用されているようです。大会運営が円滑になるよう学校校庭も大会日程に確保していただけたらということも希望の一つです。また学校校庭を利用している団体さんから設備の買い替えも考えてほしいという意見もありました。
- スポーツのスタートのきっかけに楽しむ遊ぶ場所が設定できるとよいかと思います。ボールを投げたみたくどうやって投げるの。ボールを打ってみたいどうやったら打てるの。走り方がわからないどうやったら早く走れるの。テニスがしてみたいどうやったら打てるのか。基本的なことできると楽しいのきっかけにどうでしょうか。今後安全面、技術面、スタッフ集め充分考慮して実施できましたらと考えました。
- 狛江市に芝生のグラウンドを作ってください。
- スポーツをする施設・指導者等の環境整備を充実することが必要だと思います。

考察

市民向け・団体向けアンケートの結果から、今後、スポーツの推進を図っていく上で、次の3点が特に課題であると考えられる。

■ スポーツ施設を活用したスポーツ・運動の推進

市民アンケートでは、多くの方が日常的にスポーツ・運動を実施していることがわかったが、それと同時に運動不足を感じている人も多くいた。また、市内のスポーツ施設を利用している人の割合は高くなかったことから、次の点に踏まえ、スポーツ施設を活用してスポーツ・運動の推進し、施設の有効活用及び市民の方が感じている運動不足の解消につなげていくことが課題である。

- ・多くの方に市内のスポーツ施設を利用していただける施設運用
- ・運動不足を解消する機会の提供
- ・市民自身の行動を促していくため、運動を始めるきっかけをつくっていくこと
- ・子育て世代へのスポーツの推進

■ 施設改修に合わせたスポーツ施設の見直し

市民向けアンケート及び団体向けアンケートともに施設に関する意見を多く頂いた。市内の土地活用に鑑みると新たにスポーツ施設を新設することは難しいため、既存施設を改修する際等にその内容を見直すことで、市民ニーズに応えられるように、より幅広い方達にスポーツ施設の利用を促進していくことが課題である。また、スポーツ施設の利用についての地域間格差を解消するために既存の環境を活かしていくことも課題である。

■ スポーツを「する」・「みる」・「支える」の視点からのスポーツ推進

文部科学省が策定しているスポーツ基本計画(平成 29 年 3 月 24 日)では『スポーツは「みんなのもの」であり、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで全ての人々がスポーツに関わっていく。』としており、また、東京都スポーツ推進総合計画(平成 30 年 3 月策定)では『何らかの理由によりスポーツを「する」ことが困難であったり、苦手意識があったとしても、「みる」「支える」ことによってスポーツに触れることで、楽しいと思ったり、爽快感を感じるといったことも少なくないはずです。スポーツの力は「する・みる・支える」のい

れの関わり方であっても、広く及んでいくと考えられます。』としており、スポーツは「する」・「みる」・「支える」の3つの視点から施策を進めることでスポーツを推進していけると考えられる。市民アンケートでは、スポーツへの関わり方として「する」と比較すると「みる」・「支える」での関わりは少ないと読み取れ、生涯を通してスポーツを楽しむため、また、市内のスポーツを推進する上で「みる」・「支える」の視点からも施策を進めていくことが課題である。

登録番号(刊行物番号)

R2-56

狛江市スポーツ推進計画

(令和3年度～令和7年度)

令和3年3月

発行 狛江市教育委員会
編集 狛江市教育委員会教育部社会教育課
狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03-3430-1111
頒布価格 80円